取扱説明書

SANYO

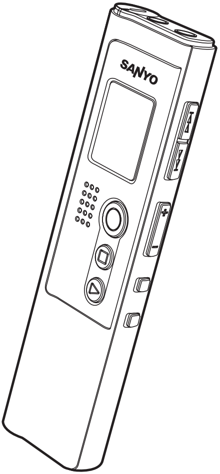
ステレオデジタルボイスレコーダー

品番　ICR-B181M

保証書付

お買い上げいただきましてありがとうございました。
正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みください。
お読みになったあとは、"いつでも見られる所"に大切に保管してください。
なお、この取扱説明書は"保証書付"になっています。「お買い上げ日」、「販売店」などの記入を必ず確かめ、販売店よりお受け取りください。

かんたん操作ガイドについて
すぐにご使用になりたいかたは、かんたん操作ガイドをご参照ください。ただし、この取扱説明書の4ページ「安全上のご注意」と、9ページ「付属品の確認」をはじめに必ずお読みください。



お客さまメモ

お買い上げの際にご記入ください。
お問い合わせの時などに便利です。

品　番	ICR-B181M
お買い上げ日	年　　月　　日
お買い上げの販売店名	電話(　　)　　ー

もくじ

はじめに

安全上のご注意 4
　必ずお読みください 8
　登録商標についての注意 8
付属品の確認 9
主な特長 10
各部のなまえ 11
お使いになるまえに 13
　電池の入れ方/交換方法 13
　電池残量表示 14
　ステレオヘッドホン(付属)を使用する 15
　タイピン型ステレオ外部マイク(付属)を使用する 15

基本操作

操作前準備 16
　電源を入/切にする 16
　誤動作を防止する(ホールド機能) 17
　ビープ音・音声ガイドのオン/オフを選択する 18
　音量を調節する 18
　日時を設定する 19
録音する 21
　録音フォルダ/ファイル番号について 21
　録音可能時間について 21
　録音モードを選択する 22
　録音するフォルダを選択する 24
　録音を開始する 25
　VAS:音声起動録音設定について 27
再生する 30
　再生するファイルを選択する 30
　再生を開始する 30
　音楽を再生するには 31
　スキップ/サーチについて 33
　リピート再生について 35
消去する 37
　ファイルを消去する 37
　フォルダ内の全ファイルを消去する 39
　内蔵メモリの全データを消去する(フォーマット) 40
表示する 42
タイマーを使用する 43
　アラームを設定する 43
　予約録音する 45

各種メニューの設定 49
　共通操作 49
外部機器と接続する 55
　外部機器へ録音(バックアップ)する 55
　外部機器の音声を録音する 56
　電話の音声を録音する 56

応用操作

パソコンに接続して使う 57
　動作環境 57
　本機をパソコンに接続する 58
　本機をパソコンから取り外す 60
　本機のフォルダについて 63
　　本機のフォルダ/ファイルについて 65
　録音した音声ファイルをパソコンに保存する 67
　音楽CDの曲をパソコンに取り込む 73
　エクスプローラで音楽ファイルを本機に転送する 80
　本機が正常に認識されているか確かめるには 87

その他

故障かな?と思うまえに 90
よくあるご質問(Q&A) 97
お手入れについて 98
主な仕様 99
保証書とアフターサービス 100
お客さまご相談窓口 101
無料修理規定 107
製品保証書 .... 裏表紙

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

安全のため必ずお守りください。

■絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。

⚠ **警告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示の例

△「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。
⃠「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。

本体について

⚠ 警告

■ 分解・改造しない


分解禁止

本機を分解、改造しないでください。
火災、感電の原因となります。内部の点検および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 運転中は使用しない

禁止

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。
また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

■ 内部に水や異物を入れない、また風呂やシャワー室で使用しない

水場禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、電池を抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ 大音量で長時間続けて聞きすぎない

禁止

ヘッドホンやイヤホンで聞くときに耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
また、突然大きな音がでて耳を痛めることがありますのでボリュームは徐々に上げるようご注意ください。

■ 極端な温度条件のもとでは使用しない

禁止

結露などによる火災や感電の原因になります。
温度が5℃以下、または35℃以上の場所では使用しないでください。
湿気の多い場所で使用しないでください。身に付けている場合は、汗による湿気で故障の原因となることがあります。
水ぬれや湿気で故障と判明した場合、保証の対象外となり、無料修理はできません。

■ 置き場所に注意

禁止

湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
また、窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

⚠ 注意

■ 電磁波の強い場所では使用しない

禁止

高圧ケーブルや携帯電話など、電磁波の強い場所やデバイスの近くでのメッセージ録音はノイズが入りますので避けてください。

■ クレジットカードなどをスピーカーに近づけない

注意

スピーカーには強力な磁石を使用していますので、時計、クレジットカード、磁気定期券、カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープは本体のそばに置かないでください。
磁気データが壊れて使用できなくなることがあります。

電池について

⚠ 注意

■ 電池は正しく入れる

注意

電池を入れるときはプラスとマイナスの向きに注意し、表示通りに入れてください。
間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損することがあります。

■ 乾電池は充電しない

禁止

乾電池は充電しないでください。
乾電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となります。

■ ショートさせない

禁止

ネックレスなどの金属物といっしょにしないでください。
電池の液漏れや、発熱、破裂の原因になります。

■ 長時間入れたままにしない

禁止

長時間(1週間程度)使用しないときは電池を取り出しておいてください。
電池からの液漏れにより、火災、けが、周囲を汚損する原因となります。

■ 使用しているときに電池を抜かない

禁止

本体を使用しているときには電池を抜かないでください。
データが壊れたり、故障の原因になります。

■ 録音内容を消去するときは、電池残量の確認をする

注意

録音内容を消去するには、電池残量表示を確認してください。
消去の途中で電源が切れると、録音内容は消去できません。

録音中に電池残量表示の目盛りがなくなったら

すぐに録音をやめて、新しい電池に交換してください。

電池が液漏れしたとき

液が本体内部に残ることがありますので、当社のお客さまご相談窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になりますので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師に相談してください。液が身体や衣服についたときも、やけどなどの原因になりますので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症などの症状がでたときには、医師に相談してください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビに近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

著作権について
放送やMD、CD、レコード、その他の録音物の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
あなたが録音したものは個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

必ずお読みください

本機の使用中、万一何らかの不具合により、録音の失敗および録音内容(データ)の損失を防ぐために

1.録音前には必ず試し録音をしてください。

2.録音データを他の機器にバックアップしてください。

(バックアップ方法については55、67ページをご覧ください。)

3.電池の残量が充分にある電池をお使いください。

本機の使用中での不具合によるデータ損失や機会損失などの補償については、当社では責任を負いかねます。また、修理でのデータ消去を伴う事項が発生しても、補償については当社では責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

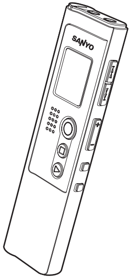
登録商標についての注意

- Microsoft、Windows Media™およびWindows® ロゴは米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの商標または登録商標です。
- Windows Media™ PlayerはMicrosoft Corporationの商標または登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は一般に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では™、® マークは明記していません。

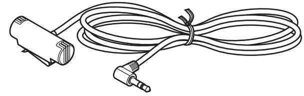
付属品の確認

箱から出し、付属品がそろっているか確認してください。

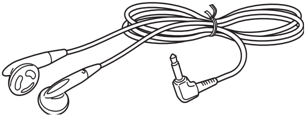
● ステレオデジタルボイス
レコーダー本体 1



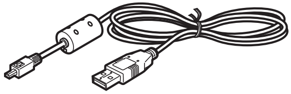
● タイピン型
ステレオ外部マイク 1



● インナーイヤー型
ステレオヘッドホン 1



● 専用USB接続ケーブル 1



● 単4アルカリ電池 1
● 本書（保証書付）......................... 1
● かんたん操作ガイド 1

主な特長

1 512MBメモリ内蔵で高音質長時間録音可能！

- MP3形式の音声データで、約72時間（録音モード：LP時）の録音が可能です。
  21ページ「録音可能時間について」参照。
- 付属のタイピン型ステレオ外部マイクでステレオ録音ができます。

2 パソコンと接続可能！

- パソコンのUSB端子に接続して、録音した音声ファイルの転送、保存ができます。
- USBフラッシュメモリとしてビジネス文書やプレゼン資料も保存可能です。
- 本機で作成した音声ファイルはパソコンで再生できます。

3 MP3/WMA音楽ファイル再生！

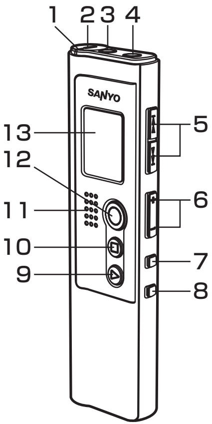
- パソコンから音楽ファイル（MP3/WMA形式）を転送することで音楽を楽しめます。
  80ページ「エクスプローラで音楽ファイルを本機に転送する」参照。
- 低音域を強調したり、音楽に合わせた音質が選べます。
  52ページ「各種メニューの設定 - BASS設定/サウンドEQ」参照。

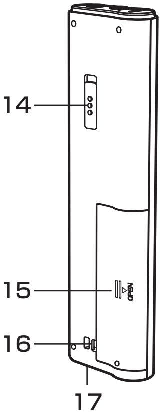
※ 本書は製品開発に先がけて印刷されており、その後性能改善や操作性向上のため製品仕様の一部が変更となることがあります。その場合は製品自体の仕様が優先されます。

各部のなまえ

くわしくは、(　)内のページをご覧ください。

本体

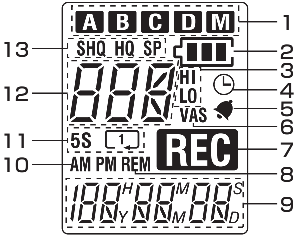




1. 録音LED(26、51ページ)
2. 内蔵マイク
3. ステレオマイク(🎤)端子(15、56ページ)
4. ステレオヘッドホン(🎧)端子(15、55ページ)
5. ⏮、⏭(スキップ/サーチ)ボタン(19、33、34、49ページ)
6. **音量(+、−)**ボタン(18、26ページ)
7. **消去**ボタン(38、39ページ)
8. **フォルダ/リピート**ボタン(24、30、35、36ページ)
9. **再生**(▷)ボタン(19、30、49ページ)
10. **停止/メニュー**(□)ボタン(19、25、32、49ページ)
11. スピーカー
12. **録音**(○)ボタン(25、26ページ)
13. 液晶パネル(12ページ)
14. **電源/ホールド**スイッチ(16、17ページ)
15. 電池ぶた(13ページ)
16. ストラップ取付
17. USB端子(58ページ)

液晶パネル

［すべての画面を一度に表示することはできません］



1. フォルダ名表示（A, B, C, D, M）
2. 電池残量表示
3. マイク感度表示（HI, LO）
4. タイマー表示
5. アラーム表示
6. 音声起動録音（VAS）
7. 録音表示（REC）
8. 残り時間表示（REM）
9. 設定/再生時間表示など
10. AM/PM表示
11. リピート/5秒前リピート再生表示
12. 設定/ファイルNo.表示など
13. 録音モード表示（SHQ, HQ, SP）（表示なし（LP））

本機の状態とスイッチ/ボタンの割り当て

押すボタン		停止中	再生中	録音中
フォルダ/リピート	軽くポン	フォルダ切り換え	5秒前リピート	－
	ギューと長押し	－	リピートモード切り換え	－
消去	軽くポン	ファイル消去選択	－	－
	ギューと長押し	フォルダ消去選択	－	－
録音	軽くポン	新規録音開始	－	録音一時停止
停止/メニュー	軽くポン	画面表示切り換え	再生停止	録音停止
	ギューと長押し	メニュー表示	－	－
再生	軽くポン	再生開始	再生スピード切り換え	－
⏮/⏭	軽くポン	ファイル選択	ファイル送り・戻し	－
	ギューと長押し	ファイル選択(連続)	早送り・早戻し	－
－/＋	軽くポン	音量調節	音量調節	録音モニターの音量調節

お使いになるまえに

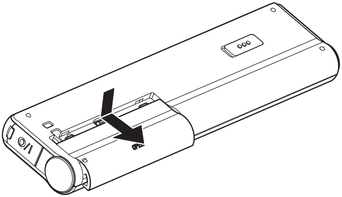
ちょっとこれを！

本機はお買い上げ時に音声ガイドの設定がオンになっていますので各種操作時には音声ガイドで案内します。操作に慣れるまでは、音声ガイドがオンの状態でのご使用をおすすめします。
53ページ「各種メニューの設定 - ビープ音設定」参照。
以降、音声ガイドの音声を『』で表示しています。

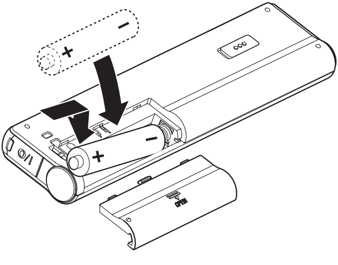
電池の入れ方/交換方法

電源を入れた状態で電池の交換をしないでください。故障やファイルが壊れるおそれがあります。

1. 図のように電池ぶたを開けます。



2. 図のように極性を間違わないように電池を入れ、電池ぶたを閉めます。



電池残量表示

電池残量は、液晶パネルの電池残量表示で確認してください。(連続録音されるときは電池残量を確認しながらおこなってください。)

： 良好状態

： 残量が少ない

： 電池交換時期(電池切れのときは、“LobAtt”表示後液晶パネル表示が消灯します。)

『電池を交換してください』

※ 電池残量が少ないときや、電池切れのときは、新しい電池と交換してください。

ご注意

- 単4アルカリ電池のご使用を推奨します。
- マンガン・ニカド電池はご使用になれません。
- 当社のエネループ(eneloop)など、充電式ニッケル水素電池の使用も可能ですが、電池の持続時間はアルカリ電池に比べて短くなります(目安として約70%程度です。)。また、電圧が異なるため、本機の電池残量表示が正しく表示されない場合があります。
- 電池は、温度が5℃〜35℃の環境でご使用ください。特に、夏の車内には放置しないでください。
- 使いきった電池は各地方自治体の指示(条例)に従って処分してください。
- 付属の電池はモニタ用ですので、寿命が短いことがあります。



ちょっとこれを!

電池持続時間について(アルカリ電池)

- 連続録音時間[SP時] ………………… 約17時間30分
  ※ 録音LED：オフ時
- 連続再生時間[スピーカー再生時] ……… 約13時間30分
- 連続再生時間[ヘッドホン再生時] ……… 約20時間

ステレオヘッドホン（付属）を使用する

ステレオヘッドホン（🎧）端子に差し込んでください。ステレオヘッドホンを差し込むと、スピーカーから音は出ません。

- 本機ではリモコン付きなどの4極プラグ端子のステレオヘッドホンはご使用になれません。
- ステレオヘッドホンの抜き差しは停止状態でおこなってください。

タイピン型ステレオ外部マイク（付属）を使用する

ステレオマイク（🎤）端子に差し込んでください。外部マイクを差し込むと、内蔵マイクははたらきません。

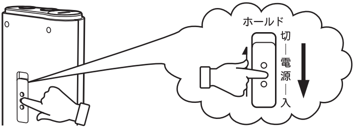
- 外部マイクの抜き差しは停止状態でおこなってください。
- 付属品以外のステレオ外部マイクを使用される場合は下記仕様を推奨します。
  - 形式 ： エレクトレットコンデンサー/※プラグインパワー方式
  - インピーダンス ： 2kΩ
  - 電源 ： 1.3Vにて動作保証品
  - プラグ ：ミニプラグ（3.5φ）
  - **当社別売品 ：HM-200**

※ プラグインパワー方式は、ボイスレコーダー本体から電源を供給する方式です。

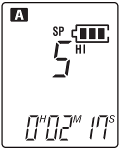
操作前準備

電源を入/切にする

電源スイッチを「入」の方向に切り換える



液晶パネルに"HELLO"を表示して電源が入り、電源を切る前に選択していたファイル番号と再生総時間が表示されます。(レジューム機能)



- **オートパワーオフ機能により自動的に電源が切れた場合は、電源スイッチを一度「切」の方向に戻した後、「入」の方向に切り換えてください。**(工場出荷時はオートパワーオフ機能がオンになっています。)

ご購入後初めて電源を入れた時は、日時を設定してください。

日時を設定するには、19ページ「日時を設定する」の手順 3 から操作してください。

電源を切るときは、停止状態で**電源スイッチ**を「切」の方向に切り換えます。"-byE-"を表示し、電源が切れます。

- 本機が何も操作しない停止状態であっても、電源が「入」になっていると電池を消耗しますのでご注意ください。電源の切り忘れを防ぐには、オートパワーオフ機能をオンに設定しておくことをおすすめします。

オートパワーオフ機能(オンに設定時)

- 電源が入った停止状態で、約15分間放置しておくと、自動的に電源が切れます。
- 録音一時停止中に、約15分間放置しておくと、録音していたファイルを保存した後、電源が切れます。
- 工場出荷時の設定はオンですが、オフに設定することもできます。54ページ「各種メニューの設定 - オートパワーオフ」参照。

レジューム機能

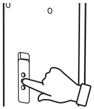
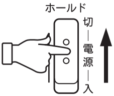
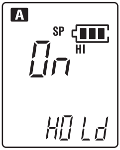
電源を切る前に選択していたファイル番号と、再生を停止させた位置を記憶しています。

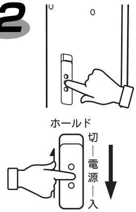
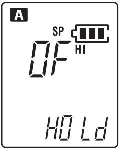
次に電源を入れたときは同じ位置で停止していますので、続きから再生を開始することができます。

● 下記の動作をおこなうとレジューム機能は解除されます。
- フォルダの切り換え
- パソコンに接続

誤動作を防止する(ホールド機能)

録音または再生中に誤ってボタンを押し、動作を中断してしまうことを防ぎます。

操作とはたらき		液晶パネル表示
1  	**録音または再生中にホールドスイッチを矢印の方向に切り換える** ● “On HOLd”を表示し、ホールド機能がはたらきます。 ● ホールド機能中に、操作ボタンを押すと、“On HOLd”と表示するだけで各ボタンは機能しません。	

<table>
<tr><th colspan="2">操作とはたらき</th><th>液晶パネル表示</th></tr>
<tr><td>2

</td><td>ホールドスイッチを矢印の反対方向に切り換える
● “OF HOLd”を表示し、ホールド機能を解除します。</td><td>
</td></tr>
</table>

ちょっとこれを!

- 本機をカバンやポケットに入れているときは、誤動作を防止するためにホールド機能をオンにしておくことをおすすめします。
- ホールドオン時にフォルダ内の最後まで再生をおこなうと、自動的に電源が切れます。

ビープ音・音声ガイドのオン/オフを選択する

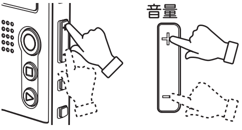
ボタンを押したときのビープ音・音声ガイドのオン/オフを選択できます。

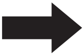
工場出荷時の設定では、音声ガイドがオンになっています。

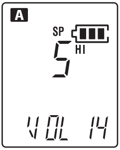
53ページ「各種メニューの設定 - ビープ音設定」参照。

音量を調節する

- 再生または停止中に**音量+/−**ボタンを押すと、下の画面を表示し、音量を調節することができます。





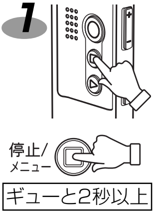


- 音量レベル00〜20の範囲で調節できます。

日時を設定する

操作とはたらき		液晶パネル表示

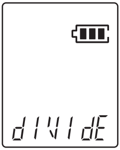
1



停止状態で停止/メニューボタンを2秒以上押す

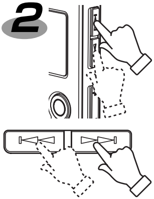
🔈『ファイル分割モードです』(AまたはB、C、Dフォルダ選択時)

● メニュー選択画面を表示します。



例:AまたはB、C、Dフォルダ選択時

2



|◀◀ または ▶▶| ボタンを押して「dAtE」を選択する

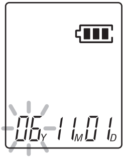
🔈『カレンダ設定モードです』

3

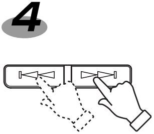


再生ボタンを押す

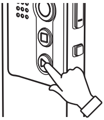
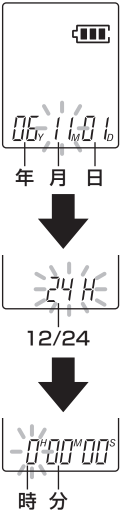
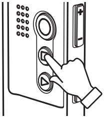
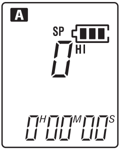
● 日時設定画面を表示します(西暦表示が点滅しています)。



4



|◀◀ または ▶▶| ボタンを押して西暦を設定する

操作とはたらき		液晶パネル表示
5  再生 	**再生ボタンを押す** ● 西暦が決定し、次の月表示が点滅します。 ● 同様の操作で、月、日、12/24時間表示、時、分を設定します。最後に「分」を設定した後、**再生**ボタンを押してください。 日時が設定されます。 🔈『カレンダ設定しました』	
6  停止/メニュー 	**停止/メニューボタンを押す** ● もとの停止状態に戻ります。 ● 日時設定を途中で中止したい時は、設定中に**停止/メニュー**ボタンを押します。	



ちょっとこれを!

- 電池を抜いた状態が約5分以上続くと、日時が保持されない場合があります。そのときは再設定してください。
- 長い期間使用していると、時刻表示がずれることがありますので、そのときは再設定してください。

録音する

風の強い場所など、環境によって録音状態が変わります。

必ず事前に試し録音して、正常に録音されることを確認してください。

ご注意

- 録音中に本機を持ち替えたり、ボタンなどをこすると、不要な音を録音してしまう場合がありますので、ご注意ください(外部マイクを使用すると、不要な音が録音されにくくなります)。
- 長時間録音するときは、新しい電池を用意して、電池残量が少なくなったら録音を停止し、新しい電池と交換してください。

録音フォルダ/ファイル番号について

本機で録音したファイルはすべてVOICEフォルダ内のA〜Dフォルダに保存されます。また、ファイル番号は録音するたびに、上書きされることなく新規のファイル番号が追加されて録音内容が記録されます。フォルダまたはファイルについては、65ページ「本機のフォルダ/ファイルについて」をご覧ください。

録音可能時間について

録音可能時間は録音モード(音質レベル)によって変化します。録音モードは下表の通り4種類あり、工場出荷時の設定ではSP(スタンダードモード)になっています。

録音モード	ステレオ/モノラル		録音可能時間
	内蔵マイク	外部マイク(ステレオタイプ)	
SHQ(スーパーハイクオリティモード)	モノラル※	ステレオ	約 9時間
HQ(ハイクオリティモード)	モノラル※	ステレオ	約18時間
SP(スタンダードモード)	モノラル※	ステレオ	約36時間
LP(ロングモード)	モノラル※	モノラル※	約72時間

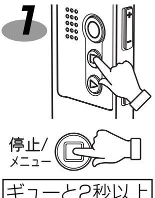
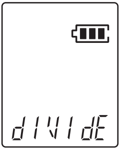
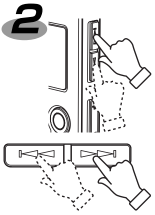
※:録音モニタ時やヘッドホン再生時は、左右両方から同じ音が出ます。

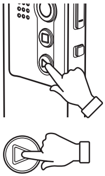
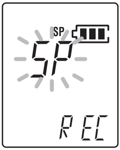
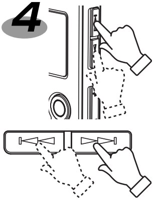
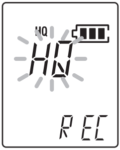
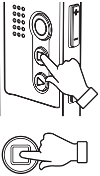
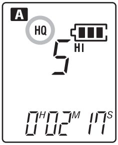
ちょっとこれを!

- **録音可能時間は、お買い上げ時の何も録音データなどが入っていない状態で、途中で録音モードを変更せずに最初から最後まで録音した場合の合計時間です。**
- 会話を録音する場合は、HQ、SPモードをおすすめします。
- 楽器のお稽古/練習などを録音する場合はSHQモードをおすすめします。
- デジタルボイスレコーダーは、会話などの音声録音を主目的としたものであり、音楽を録音した際、音楽の種類や音量/環境によって、音割れなどが発生する場合があります。本格的な音楽録音をする際は、専用の音楽録音機器のご使用をおすすめします。
- 長時間における連続録音/再生の場合、途中で電池の交換が必要です。
- 口述録音の場合は、マイクを口元から約10cm離して録音してください。近づきすぎますとノイズの原因になります。

1 録音モードを選択する

Mフォルダには録音できません。

操作とはたらき		液晶パネル表示
1 	**停止状態で停止/メニューボタンを2秒以上押す** 『ファイル分割モードです』 ● メニュー選択画面を表示します。	
2 	**I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して「REC」を選択する** 『録音設定モードです』	

操作とはたらき		液晶パネル表示
3  再生	**再生ボタンを押す** ● 録音モード選択画面を表示します（現在選択している録音モードが点滅しています）。	
4 	**⏮ または ⏭ ボタンを押して希望の録音モード（SHQ, HQ, SP, LP）を選択する**	
5 再生 	**再生ボタンを押す** 🔊『○○モードに設定しました』 ● 録音モードが確定し、メニュー選択画面に戻ります。	
6  停止/メニュー	**停止/メニューボタンを押す** ● もとの停止状態に戻ります。	

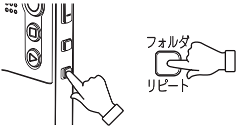
基本操作

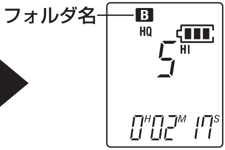
録音する

2 録音するフォルダを選択する

フォルダ/リピートボタンを押して、録音するフォルダ(A・B・C・D)を選択する

🔊『○フォルダ』





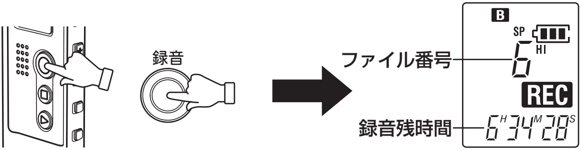
ご注意

- **録音中に電池を抜かないでください。**
- 各録音モードの最大録音時間とは別に、**本機で録音できる**最大ファイル数は1フォルダにつき99ファイルとなります(最大396ファイル:99ファイル×4フォルダ)。
  ただし、録音残時間がない場合は、99ファイルまで録音できません。
  (🔊『メモリ容量が一杯です。録音できません』)
- 録音残時間が残っていても、100以上のファイルを録音することはできません。100ファイル目を録音しようとすると"FULL"と表示されます。
  (🔊『ファイルが一杯です。録音できません』)
  空いているフォルダに切り換えるか、不要なファイルを消去してください。
  37ページ「ファイルを消去する」参照。
- フォルダを切り換えると、A·B·C·Dの次にMフォルダが表示されますが、Mフォルダを選択して録音した場合、自動的にAフォルダに録音されます。Aフォルダのファイル数が99のときは録音できません。

3 録音を開始する

電池の残量が充分にあることを確認してください。

録音ボタンを押す



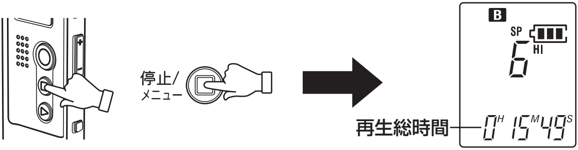
録音LEDが点灯して液晶パネルに“ REC ”を表示し、録音を開始します。

現在録音しているファイル番号と録音残時間を表示します。

- 自動的に録音日時(録音開始時刻)も記録します。
  42ページ「表示する」参照。
- 録音LEDのオン/オフを選択できます。工場出荷時の設定ではオンに設定されています。
  51ページ「各種メニューの設定 - 録音LED」参照。

録音を停止するには

停止/メニューボタンを押す

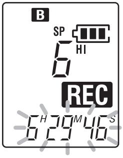


再生総時間を表示し、録音したファイルの先頭に戻ります。

録音を一時停止するには

録音中に、録音ボタンを押す





録音残時間と録音LED(録音LEDオン時)が点滅します。
再度**録音**ボタンを押すと、録音を再開します。

- 録音一時停止中に、約15分間放置しておくと、録音していたファイルを保存した後、電源が切れます(オートパワーオフ機能をオンに設定時)。

録音内容をモニターするには

ステレオヘッドホン(🎧)端子にステレオヘッドホンを差し込みます。その状態で録音を開始すると、録音している内容をステレオヘッドホンから聞くことができます。**音量**(+または−)ボタンを押すと、モニター中にステレオヘッドホンから聞こえてくる音量を調節できます。
スピーカーからモニター音は出力されません。

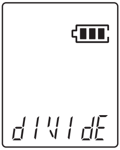
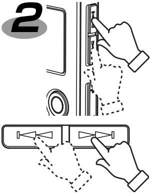
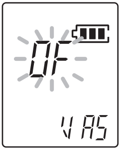
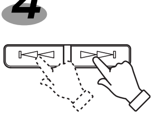
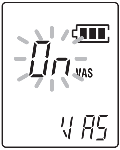
録音(マイク)感度の設定

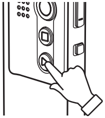
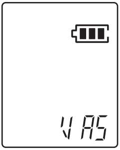
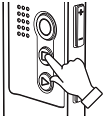
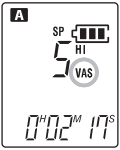
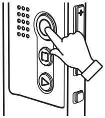
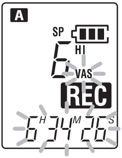
本機ではマイク感度(HI/Lo)の設定ができます。
工場出荷時の設定では「HI」に設定されていますが、録音をされる前に試し録音をし、適切な感度に切り換えてください。
(51ページ「各種メニューの設定 - マイク感度設定」参照)

VAS：音声起動録音設定について

VASとは、録音状態で音声を感知したときに自動的に録音を開始し、音声が一定のレベル以下になると録音が自動的に一時停止（録音待機）するという機能です。

準備：AまたはB、C、Dフォルダを選択しておきます。（24ページ）

操作とはたらき		液晶パネル表示
1  ギューと2秒以上	**停止状態で停止/メニューボタンを2秒以上押す** 🔈『ファイル分割モードです』 ● メニュー選択画面を表示します。	
2 	**⏮ または ⏭ ボタンを押して「VAS」を選択する** 🔈『VAS設定モードです』	
3 	**再生ボタンを押す** ● VAS設定画面を表示します（現在の設定が点滅しています）。	
4 	**⏮ または ⏭ ボタンを押して「On」を選択する**	

操作とはたらき		液晶パネル表示
5  再生 	**再生ボタンを押す** 🔈『VASオンに設定しました』 ● VAS設定が「On」になり、メニュー選択画面に戻ります。	
6  停止/メニュー 	**停止/メニューボタンを押す** ● もとの停止状態に戻ります(VAS表示が点灯しています)。	
7  録音 	**録音ボタンを押す** ● 音声を感知しないと録音待機状態になり、音声を感知すると自動的に録音を開始します。 (録音待機状態: VAS表示と録音残時間が点滅) ※ **停止/メニューボタンを押さない限り、停止状態になりません。また、電源を切ることもできません。**	

ご注意

- VAS設定がオンに設定されている状態で録音を開始すると、約2秒間は無条件に録音されます。
- 音声レベルが約2秒間設定レベル以下になると、録音を一時停止(録音待機)します。
- 小さな音声のときは、この機能が働いて、録音できない場合があります。

マイクセンサーの感知レベル

VAS設定をオンに設定している場合は、録音または録音待機中に ◀◀ または ▶▶ ボタンを押して、マイクセンサーの感知レベルを設定することができます。

VASの感知レベルは「VAS 1～VAS 5」の範囲で、数値を画面表示します（初期値＝3）。

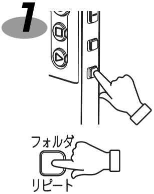
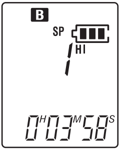
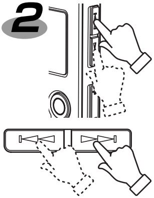
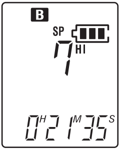
数値が高い方が小さな音でも起動しやすくなりますが、雑音の多いところでは、逆に録音が止まらない場合があります。

マイク感度を「HI」または「Lo」に切り換えて、ご使用の目的に合わせてVASレベルを調整してください。

- 小さな音声のときは、VAS機能が働いて、録音できない場合があります。大切な録音をする場合は、この機能をオフにしてください。
- VAS録音時に**録音**ボタンを押すと、通常の録音一時停止状態になります。（オートパワーオフ機能をオンに設定時には、約15分後に自動的に電源が切れます。）

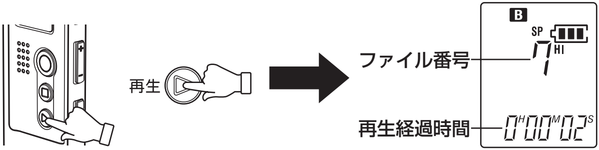
再生する

1 再生するファイルを選択する

操作とはたらき		液晶パネル表示
1 	**フォルダ/リピートボタンを押して、再生するファイルが入っているフォルダ(A・B・C・D・M)を選択する** 🔊『○フォルダ』 ● A·B·C·D·Mが切り換わります。	
2 	**⏮ または ⏭ ボタンを押して、再生したいファイルを選択する**	

2 再生を開始する

再生ボタンを押す



再生を開始します。

再生中はファイル番号と再生経過時間を表示します。

● 同一フォルダ内の最後のファイルの再生が終了すると、自動的に停止します。

ご注意

- 容量の大きいファイルは、ボタンを押してから動作するまでの時間が少しかかることがあります。ファイル数が多い場合も、ボタンを押してから動作するまでの時間が少しかかることがあります。

音楽を再生するには

音楽を再生するには、パソコンから音楽ファイルを転送しておく必要があります。
（80ページ「エクスプローラで音楽ファイルを本機に転送する」参照）

1. 前ページ手順 1 でM（MUSIC）フォルダを選択します。

『ミュージックフォルダ』

2. 前ページ手順 2 で再生したい音楽ファイルを選択します。

3. 再生ボタンを押します。

ご注意

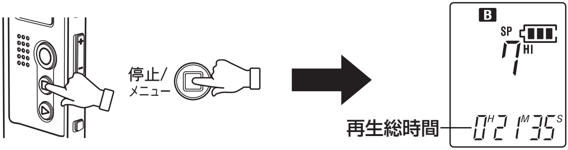
- MP3、WMA形式のファイルによっては、再生時間表示と実際の再生時間が異なる場合があります。
- MP3、WMA形式のファイルでも、本機で正常に再生できない場合があります。
- CBR（固定ビットレート）のファイルのみ再生可能です。

ちょっとこれを！

音楽ファイルをヘッドホン再生するときは、お好みの音質を選んだり、低音を強調したりすることができます。
（52ページ「各種メニューの設定 - BASS設定/サウンドEQ」参照）

再生を停止するには

停止/メニューボタンを押す

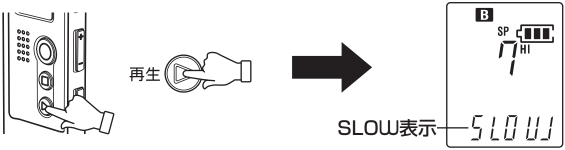


再生していたファイル番号とファイルの再生総時間を表示します。
再生ボタンを押すと、続きから再生を再開します。

再生スピードを切り換えるには

再生中に、再生スピードを切り換えることができます。（再生スピードを切り換えると同時に音声帯域を強調して聞きやすく再生します。）

再生中に、再生ボタンを押す



押すたびに以下の順に切り換わります。

「遅い（"SLOW"表示）」... ゆっくりしたスピードで再生（標準の約0.95倍速）
↓
「速い（"FASt"表示）」...... 速いスピードで再生（標準の約1.1倍速）
↓
「標準スピード（再生経過時間表示）」

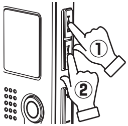
ちょっとこれを！

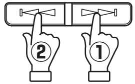
- 再生を停止すると、再生スピードは標準スピードに戻ります。
- 早送り・早戻しをしても、再生スピードは標準スピードに戻りません。
- ファイルによっては正常に再生できない場合があります。

スキップ/サーチについて

再生を早送り・早戻しするには

再生中に、⏮ または ⏭ ボタンをギューと2秒以上押し続ける





(早戻し)　(早送り)

ギューと2秒以上

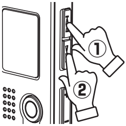
モード状態	⏮ または ⏭ ボタンを押し続ける	このようになります
再生中	⏭ (早送り)	現在再生しているファイルを早送りし、⏭ ボタンを離すと再生状態に戻る
	⏮ (早戻し)	現在再生しているファイルを早戻しし、⏮ ボタンを離すと再生状態に戻る
ファイルの最後まで早送り	⏭ (早送り)	次のファイルの先頭から早送り再生を続ける
ファイルの先頭まで早戻し	⏮ (早戻し)	ひとつ前のファイルの最後から早戻し再生を続ける
最後のファイル再生中	⏭ (早送り)	ファイルの最後で停止状態になる
最初のファイル再生中	⏮ (早戻し)	最初のファイルの頭に戻り、停止状態になる

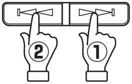
ちょっとこれを！

- **⏮ または ⏭ ボタンから指をはなすと早送り・早戻し再生を解除し、通常再生に戻ります。**
- ⏮ または ⏭ ボタンを押し続けると、早送り・早戻し再生の速度は早くなっていきます。
- 早送り・早戻し再生時は、ビープ音（ピッ）が鳴ります。（音声ガイドまたはビープ音をオンに設定時）

ファイル送り・戻しするには

再生または停止中に、⏮ または ⏭ ボタンを軽くポンと押す





(ファイル戻し)　(ファイル送り)

軽くポン

モード状態	⏮ または ⏭ ボタンをポンと押す	このようになります
停止中	⏮、⏭	前後のファイル番号を表示
再生中	⏭ (ファイル送り)	次のファイル番号を表示し、頭から再生
	⏮ (ファイル戻し)	再生中のファイルの頭に戻り、続けて押すと、前のファイルの頭に戻り、再生を始める
最後のファイル再生中	⏭ (ファイル送り)	最初のファイルの頭に戻り、再生を始める
最初のファイル再生中	⏮ (ファイル戻し)	最初のファイルの頭に戻り、続けてもう一度ポンと押すと、最後のファイルの頭に戻り再生を始める

ご注意

- 容量の大きいファイルは、ボタンを押してから動作するまでの時間が少しかかることがあります。

ちょっとこれを！

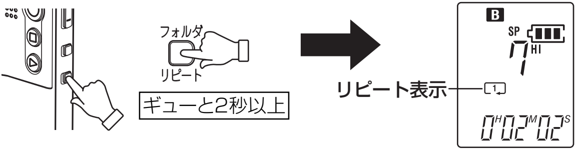
- 連続でファイル送り・戻しをするには、停止中に ⏮ または ⏭ ボタンを押し続けます。
- 停止中にファイルを選択した場合は、**再生**ボタンを押して再生を開始してください。

リピート再生について

リピート再生するには

再生中のファイルまたは、選択中のフォルダ内の全ファイルを繰り返し再生することができます。

再生中に、フォルダ/リピートボタンを2秒以上押す



押すたびに以下の順に切り換わります。

「ファイルリピート（ 1 表示）」.... 再生中のファイルを繰り返し再生

↓ 2秒以上押す

「フォルダリピート（ 表示）」.... フォルダ内の全ファイルを繰り返し再生

↓ 2秒以上押す

「リピートオフ」

（2秒以上押す → 「ファイルリピート」に戻る）



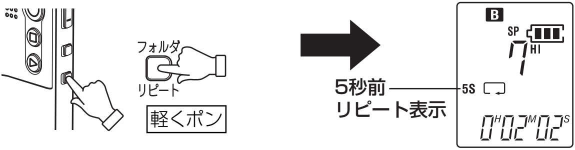
ちょっとこれを！

- リピート再生中に再生を停止すると、リピートオフになります。
- ファイルまたは、フォルダリピート再生中に**フォルダ/リピート**ボタンをポンと押すと、5秒前リピート機能が働きます。

5秒前リピート機能について

再生中のファイルの現在時点から5秒前に戻って、現在時点までの5秒間を繰り返し再生する機能です。短いフレーズなどを繰り返して再生することができます。

再生中に、フォルダ/リピートボタンを1回押す



- 「5S ⌐」を表示し、押した時点から5秒前に戻って繰り返し再生します。
- 5秒前リピート設定中に、**フォルダ/リピート**ボタンを押すと、5秒前リピートを解除して通常再生に戻ります。

ご注意

- 5秒未満のファイル再生時は、5秒前リピート機能が働きません。
- 再生を停止すると5秒前リピート機能を解除します。

消去する

「ファイルを消去する」・「フォルダ内の全ファイルを消去する」で消去できるのは、本機で再生可能なMP3・WMA形式のファイルのみです。

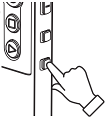
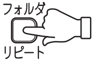
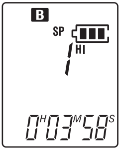
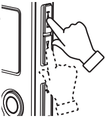
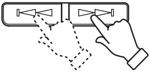
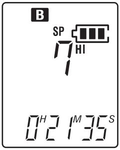
● 以下のファイルは消去できません。
- MP3・WMA形式以外のファイル
- 再生可能なフォルダに入っていないファイル

ご注意

● **一度消去したファイルは元に戻すことができません。**
● **消去する時は、電池の残量が充分にあることを確認してください。**

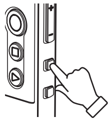
ファイルを消去する

次ページの手順 ***4*** まで操作すると、消去されます。

操作とはたらき		液晶パネル表示
1  	**フォルダ/リピートボタンを押して、消去するファイルが入っているフォルダ(A・B・C・D・M)を選択する** 🔈『○フォルダ』 ● A・B・C・D・Mが切り換わります。	
2  	**⏮ または ⏭ ボタンを押して、消去したいファイルを選択する** ● 消去を中止するには、**停止/メニュー**ボタンを押します。	

操作とはたらき		液晶パネル表示
3	**停止状態で、消去ボタンをポンと押す**	

3



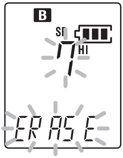


軽くポン

停止状態で、消去ボタンをポンと押す

🔈『ファイルを消去します』

- “ERASE”と消去するファイル番号が点滅します。
- このとき、⏮ または ⏭ ボタンを押して消去するファイルの選択ができます。
- 消去できるファイルがない場合、**消去**ボタンを押しても、機能しません。
  🔈『ファイルがありません』
- 5秒間放置すると、もとの停止状態に戻ります。
- 次の手順 **4** で消去されます。



4

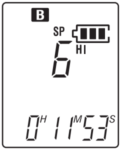


ギューと2秒以上

再度消去ボタンを2秒以上押す

🔈『消去しました』

- 選択したファイルを削除し、停止状態になります。
- 消去後のファイル番号は繰り上がります。
  例）ファイル「1,2,3」のファイル番号2を消去→ファイル番号3が2に繰り上がり、ファイル「1,2」となる。

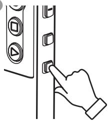
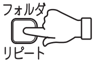
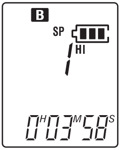
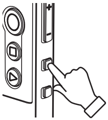
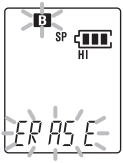


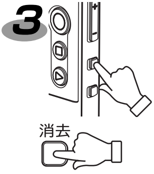
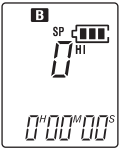
ご注意

手順 **3**、**「停止状態で、消去ボタンをポンと押す」**の操作の時に、**2秒以上消去ボタンを押すと、フォルダ内全てのファイルが消去の対象**となりますのでご注意ください。

フォルダ内の全ファイルを消去する

次ページの手順 **3** まで操作すると、消去されます。

操作とはたらき		液晶パネル表示
1   	**フォルダ/リピートボタンを押して、消去するフォルダ(A・B・C・D・M)を選択する** 🔈『○フォルダ』 ● A·B·C·D·Mが切り換わります。	
2   ギューと2秒以上	**停止状態で、消去ボタンを2秒以上押す** 🔈『フォルダ内のファイルを消去します』 ● “ERASE”と消去するフォルダ名が点滅します。 ● このとき、I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して消去するフォルダの選択ができます。 ● 5秒間放置すると、もとの停止状態に戻ります。 ● 消去を中止するには、**停止/メニュー**ボタンを押します。 ● 次ページの手順 **3** で消去されます。	

操作とはたらき		液晶パネル表示
3  ギューと2秒以上	**再度消去ボタンを2秒以上押す** 🔊『消去しました』 ● 選択したフォルダ内のすべての再生対象ファイルを消去し、停止状態になります。	

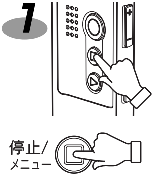
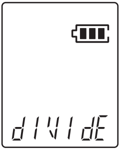
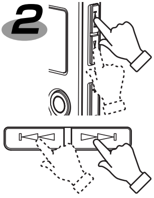
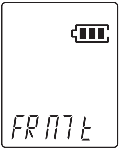
内蔵メモリの全データを消去する(フォーマット)

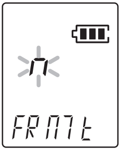
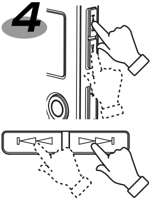
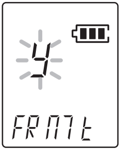
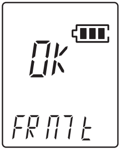
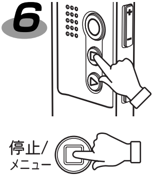
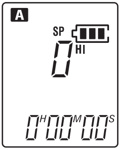
内蔵メモリの内容がすべて消去されます。消去する前に必要なファイルは必ずバックアップしておいてください。

(バックアップ方法については55、67ページをご覧ください。)

必ず電池残量を確認してから実行してください。

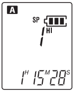
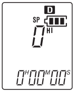
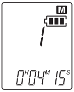
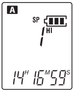
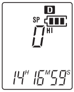
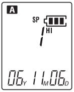
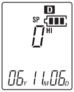
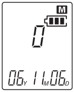
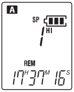
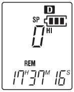
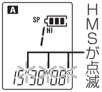
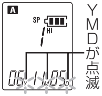
※ 消去後は、すべての設定が工場出荷時の設定値となります(カレンダ設定を除く)。49ページ「工場出荷時の設定値」参照。

操作とはたらき		液晶パネル表示
1  ギューと2秒以上	**停止状態で停止/メニューボタンを2秒以上押す** 🔊『ファイル分割モードです』(AまたはB、C、Dフォルダ選択時) ● メニュー選択画面を表示します。	 例:AまたはB、C、Dフォルダ選択時
2 	**⏮ または ⏭ ボタンを押して「FRmt」を選択する** 🔊『メモリのフォーマットをおこないます』	

操作とはたらき		液晶パネル表示
3 	**再生ボタンを押す** ● フォーマット画面を表示します。	
4 	**⏮ または ⏭ ボタンを押して「y」を選択する** ● フォーマットを途中で中止するには、**停止/メニュー**ボタンを押します。	
5 	**再生ボタンを押す** 🔈『内蔵メモリをフォーマットしました』 ● "[-]"→"OK"を表示してメモリ内の全データを消去した後、メニュー選択画面に戻ります。	
6 	**停止/メニューボタンを押す** ● もとの停止状態に戻ります。	

表示する

停止状態で**停止/メニュー**ボタンを押すと、画面表示が以下の順番で切り換わります。

表示順	現在位置がVOICE(A・B・C・D)フォルダ		現在位置がMUSIC(M)フォルダ	
	再生対象ファイル有	再生対象ファイル無	再生対象ファイル有	再生対象ファイル無
1	再生総時間 	再生総時間 	再生総時間 	再生総時間 
2	現在時間 	現在時間 	現在時間 	現在時間 
3	現在日付 	現在日付 	現在日付 	現在日付 
4	録音可能時間 	録音可能時間 	ファイル停止位置 	—
5	録音時間 	—	—	—
6	録音日付 	—	—	—

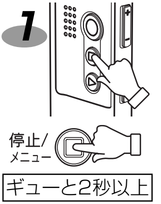
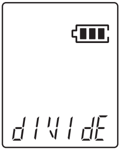
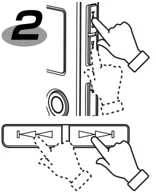
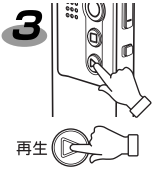
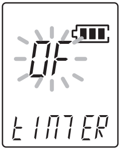
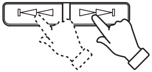
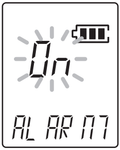
タイマーを使用する

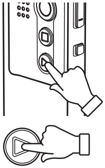
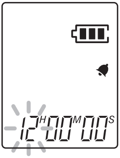
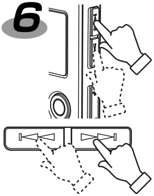
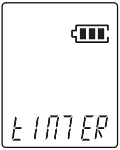
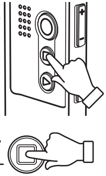
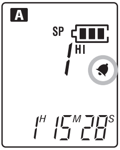
タイマーを設定する前には必ず日時を設定してください。

● 19ページ「日時を設定する」を参照ください。

アラームを設定する

指定時間にアラーム音（ビープ音）を約10秒間鳴らすことができます。

	操作とはたらき	液晶パネル表示
1 	**停止状態で停止/メニューボタンを2秒以上押す** 🔈『ファイル分割モードです』（AまたはB、C、Dフォルダ選択時） ● メニュー選択画面を表示します。	 例：AまたはB、C、Dフォルダ選択時
2 	**⏮ または ⏭ ボタンを押して「tIMER」を選択する** 🔈『タイマー設定モードです』	
3 	**再生ボタンを押す** ● タイマー選択画面を表示します（現在の設定が点滅しています）。	
4 	**⏮ または ⏭ ボタンを押して「On ALARM」を選択する**	

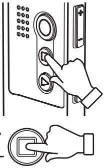
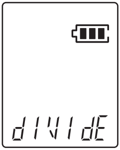
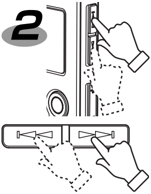
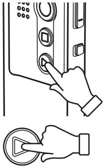
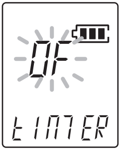
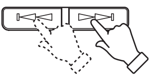
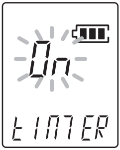
	操作とはたらき	液晶パネル表示
5  再生	**再生ボタンを押す** ● アラーム時刻設定画面を表示します（時表示が点滅しています）。	
6 	**⏮ または ⏭ ボタンを押して時を設定する**	
7 再生 	**再生ボタンを押す** ● 時が決定し、次の分表示が点滅します。 ● 同様の操作で、分を設定した後、**再生**ボタンを押してください。 🔈『アラームを設定しました』 ● アラーム時刻が設定され、メニュー選択画面に戻ります。	
8  停止/メニュー	**停止/メニューボタンを押す** ● もとの停止状態に戻ります。 ● アラームを設定すると、“🔔”を表示します。アラーム実行後は、表示が消えます。 ● 指定時間になると、アラーム音が鳴ります。	

● アラーム設定を途中で中止したい時は、設定中に**停止/メニュー**ボタンを押します。

予約録音する

指定時間に録音を開始することができます。録音したファイルは指定したフォルダに作成されます。

準備:録音モードを選択しておきます。(22ページ)

操作とはたらき		液晶パネル表示
1  停止/ メニュー ギューと2秒以上	**停止状態で停止/メニューボタンを2秒以上押す** 『ファイル分割モードです』(AまたはB、C、Dフォルダ選択時) ● メニュー選択画面を表示します。	 例:AまたはB、C、Dフォルダ選択時
2 	**I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して「tIMER」を選択する** 『タイマー設定モードです』	
3  再生	**再生ボタンを押す** ● タイマー選択画面を表示します(現在の設定が点滅しています)。	
4 	**I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して「On tIMER」を選択する**	

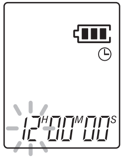
操作とはたらき	液晶パネル表示

5

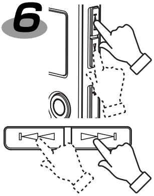


再生ボタンを押す

- 予約録音開始時刻設定画面を表示します(時表示が点滅しています)。



6



◀◀ または ▶▶ ボタンを押して時を設定する

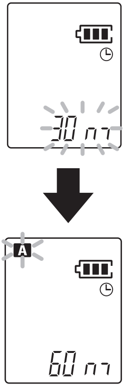
7

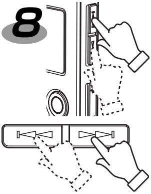
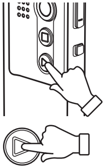
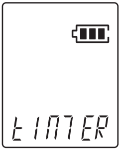
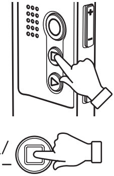
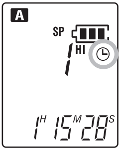


再生ボタンを押す

- 時が決定し、次の分表示が点滅します。
- 同様の操作で分、録音時間※(30m、60m、120m、ALLから選択)を設定し、**再生**ボタンを押すと、予約録音-フォルダ指定画面を表示します(現在の設定が点滅しています)。

※ 30m 30分
60m 1時間
120m 2時間
ALL .... 録音残時間がなくなるまで



操作とはたらき		液晶パネル表示
8 	**⏮ または ⏭ ボタンを押して録音するファイルを保存するフォルダを選択する** ● Mフォルダは選択できません。	
9 	**再生ボタンを押す** 🔈『予約録音を設定しました』 ● 予約録音を設定し、メニュー選択画面に戻ります。	
10 	**停止/メニューボタンを押す** ● もとの停止状態に戻ります。 ● 予約録音を設定すると、“ 🕒 ”を表示します。予約録音実行後は、表示が消えます。 ● 指定時間になると、録音を自動的に開始し、指定したフォルダ内に新しいファイルが作成されます。	

● 予約録音設定を途中で中止したい時は、設定中に**停止/メニュー**ボタンを押します。

ご注意

● アラームや予約録音を使用する時は、電池の残量が充分にあることを確認してください。
● 録音残時間がないときや、指定したフォルダ内のファイルが99あるときは録音できません。

アラームまたは予約録音の設定時間になると

動作状態	アラーム動作	予約録音動作
電源「切」	自動的に電源が入り、アラーム音が鳴る アラーム実行後は電源が切れる	自動的に電源が入り、録音を開始する 予約録音実行後は電源が切れる
停止中	アラーム音が鳴る	録音を開始する
再生中	再生中の音声が中断されて、アラーム音が鳴り、画面に" "が点滅して再生を再開する	再生がそのまま継続されて、予約録音は始まらずに画面に" "が点滅する
録音中	録音がそのまま継続されて、アラーム音は鳴らずに画面に"ALARM"を表示して" "が点滅する	録音がそのまま継続されて、予約録音は始まらずに画面に" "が点滅する

■ アラームを解除するには

43ページの手順 **4** で「OF」を選択して**再生**ボタンを押します。

■ 予約録音を解除するには

45ページの手順 **4** で「OF」を選択して**再生**ボタンを押します。

ご注意

- 予約録音中に**録音**ボタンを押すと録音一時停止になります。
- 予約録音中に**停止/メニュー**ボタンを押すと停止状態になります。
（電源「切」状態から予約録音が始まった場合、自動的にホールドオンとなっていますので、操作するときは**電源/ホールド**スイッチを戻してホールドオフにしてから操作してください。）

ちょっとこれを！

- アラーム音を止めるには、**停止/メニュー**ボタンを押します。
- 設定時刻は現在の時刻から24時間以内で設定できます。
- アラームまたは予約録音は、一度実行すると設定が解除されます。

各種メニューの設定

共通操作

1. 停止状態でメニュー/停止ボタンを2秒以上押します。

- メニュー選択画面を表示します。

2. I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して設定したいメニューを選択します。

- A·B·C·Dフォルダ選択中は、以下の順に切り換わります。
  「dIVIdE」↔「REC」↔「SEnSE」↔「bEEP」↔「VAS」↔「LEd」↔「dAtE」↔「tImER」↔「FRmt」↔「AUto OF」↔「SOFt nO」↔「dIVIdE」...
- Mフォルダ選択中は、以下の順に切り換わります。
  「bEEP」↔「bASS」↔「EQ」↔「dAtE」↔「tImER」↔「FRmt」↔「AUto OF」↔「SOFt nO」↔「bEEP」...

3. 再生ボタンを押すと、それぞれの設定画面を表示します（現在の設定が点滅しています）。

- I◀◀ または ▶▶I ボタンを押して、各項目を選択し、**再生**ボタンを押すと設定が決定し、各メニュー選択画面に戻ります。
  停止/メニューボタンを押すと、もとの停止画面に戻ります（設定の変更が反映されています）。
- 設定中に、**停止/メニュー**ボタンを押した場合、設定をキャンセルして各メニュー選択画面に戻ります。

工場出荷時の設定値

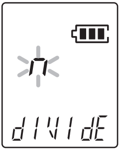
- ■ **dIVIdE**：ファイル分割 .... 「n」
- ■ **REC**：録音モード設定 .... 「SP」
- ■ **SEnSE**：マイク感度設定 ..... 「HI」
- ■ **VAS**：VAS設定 .... 「OF」
- ■ **LEd**：録音LED .... 「On」
- ■ **bASS**：BASS設定 .... 「OF」
- ■ **EQ**：サウンドEQ .... 「OFF」
- ■ **bEEP**：ビープ音設定 ... 「On VOICE」
- ■ **dAtE**：カレンダ設定 06Y11M01D 24H 0H00M
- ■ **tImER**：タイマー設定 .. 「OF tImER」
- ■ **FRmt**：フォーマット .... 「n」
- ■ **AUto OF**：オートパワーオフ ....「On」
- ■ **SOFt nO**：バージョン .... −

各種メニューと設定できる内容を次に示します。

タイマーを使用する
基本操作
各種メニューの設定

■dIVIdE:ファイル分割

『ファイル分割モードです』



ファイル分割機能を活用することにより不要な部分のカットや必要な部分の抽出ができます。
あらかじめ分割したい位置(時間)までファイルを再生し、停止させておきます。

- **「n」**:メニュー選択画面に戻ります。
- **「y」**:停止位置でファイル分割を実行します。

● **一度分割したファイルは再び結合することができません。**

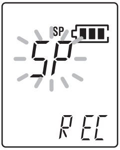
● **録音時間の短いファイルは、ファイル分割できません。**

● ファイル分割するにはメモリに空き容量が必要です。また、フォルダ内のファイル数が99になるとファイル分割できません。

● ファイル分割した際 指定した位置から前後にずれが生じる場合があります。

■REC:録音モード設定

『録音設定モードです』



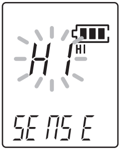
録音モードを設定します。

- **「SHQ」**:スーパーハイクオリティモード
- **「HQ」**:ハイクオリティモード
- **「SP」**:スタンダードモード
- **「LP」**:ロングモード

● 22ページ「録音モードを選択する」参照。

■SEnSE:マイク感度設定

『マイク感度設定モードです』



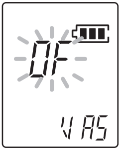
マイクの感度を設定します。

- **「HI(高感度)」**:静かな状況で録音するときに選択します。
- **「LO(低感度)」**:雑音の多い状況で録音するときに選択します。音源の近くで、録音する場合など。

● 大音量の音楽などを録音する場合は、「LO(低感度)」にしても音が割れたりすることがあります。

■VAS:VAS設定

『VAS設定モードです』



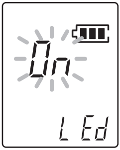
VAS(音声起動録音)のオン/オフを設定します。

- **「OF」**:手動で録音の開始、停止をします。
- **「On」**:録音状態で音声を感知したときに自動的に録音がはじまり、音声がとだえると録音が自動的に録音待機となります。

● 27ページ「VAS:音声起動録音設定について」参照。

■LEd:録音LED

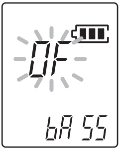
『録音LED設定モードです』



録音LEDのオン/オフを設定します。

- **「On」**:録音時に録音LEDが点灯します。
- **「OF」**:録音時に録音LEDは点灯しません。

■bASS:BASS設定



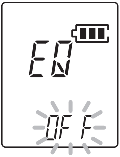
『BASS設定モードです』

低音域の強調モードのオン/オフを設定します。

- **「OF」**:BASS機能を使いません。
- **「On」**:低音域が強調された迫力のある音質で再生します。

ヘッドホン再生時のみ有効です。

■EQ:サウンドEQ



『サウンドイコライザーモードです』

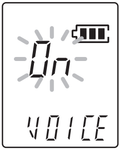
音楽に合わせた音質を選択することができます。

- **「OFF」**:サウンドEQを使いません。
- **「CLAS」**:低音域と高音域を強調します。
- **「JAZZ」**:中音域を強調します。
- **「ROCk」**:低音域と高音域をより強調します。
- **「POP」**:低音域と高音域をやや強調します。

ヘッドホン再生時のみ有効です。

選択中のフォルダに関係なく設定できるメニュー項目

■bEEP:ビープ音設定

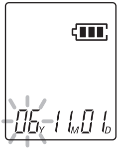


🔈『ビープ音設定モードです』

音声ガイドやビープ音(ピッ)のオン/オフを設定します。

- **「On VOICE」**:操作時、音声ガイドとビープ音(ピッ)とで設定などの確認ができます。
- **「On bEEP」**:ボタンを押すと、ビープ音(ピッ)が鳴り、音声ガイドは鳴りません。
- **「OF bEEP」**:音声ガイドとビープ音(ピッ)との両方を解除します。

■dAtE:カレンダ設定



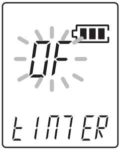
🔈『カレンダ設定モードです』

カレンダ設定(年月日･時分)をおこないます。

YY年**MM**月**DD**日、(12/24時間表示)、**HH**時**MM**分

● 19ページ「日時を設定する」参照。

■tIMER:タイマー設定



🔈『タイマー設定モードです』

アラーム設定、予約録音の設定をおこないます。

- **「OF tIMER」**:アラーム設定と予約録音を解除します。
- **「On ALARM」**→**HH**時**MM**分:設定した時間にアラーム音(約10秒)を鳴らします。
- **「On tIMER」**→**HH**時**MM**分→**録音する時間**→**録音フォルダ**:設定した時刻に録音を開始し、設定した録音時間、選択したフォルダにファイルを保存します。

● 43ページ「タイマーを使用する」参照。

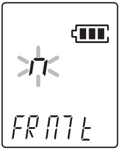
ご注意

● アラームと予約録音とを同時に設定することはできません。

■FRMt：フォーマット

『メモリのフォーマットをおこないます』

内蔵メモリをフォーマット（全データ消去）することができます。



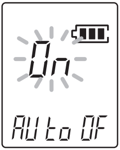
- **「n」**：フォーマットを取りやめます。
- **「y」**：内蔵メモリ中の全データを消去します。

● 40ページ「内蔵メモリの全データを消去する（フォーマット）」参照。

■AUto OF：オートパワーオフ

『オートパワーオフ設定モードです』

オートパワーオフ機能のオン/オフを設定します。

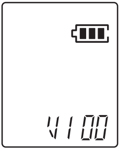


- **「OF」**：オートパワーオフ機能は働きません。
- **「On」**：オートパワーオフ機能が働きます。

■SOFt nO：バージョン

『バージョンを表示します』

ソフトウェアのバージョンを表示します。



<バージョン1.00の場合の表示例>

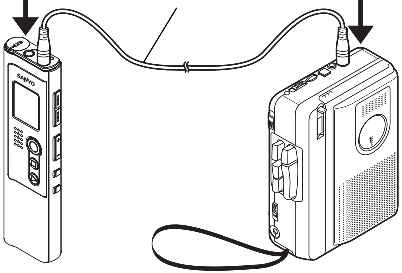
外部機器と接続する

外部機器へ録音(バックアップ)する

1.本機の音量を調節します。

● 18ページ「音量を調節する」参照。

2.ミニプラグ(3.5φ)つきで、ステレオタイプのオーディオケーブル(市販品)を、本機のステレオヘッドホン(🎧)端子と外部機器のマイク端子に接続します。



3.外部機器の録音を開始します。

4.録音したいファイル(録音内容)を選択し、本機の再生を開始します。

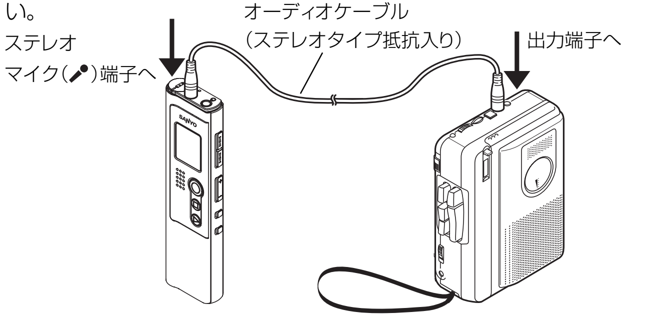
● 30ページ「再生する」参照。

ご注意

● テープレコーダーなどの音声(ライン)入力端子を使用して接続する場合は「抵抗なし」オーディオケーブル(ステレオタイプ)をご使用ください。
● バックアップ前には必ず試し録音をして、本機側で音量の調節をしてください。

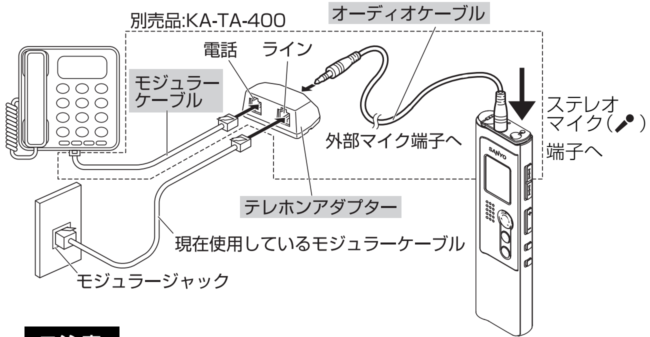
外部機器の音声を録音する

外部機器の出力を本機のステレオマイク(🎤)端子に接続してください。



電話の音声を録音する

(別売品:電話録音キットKA-TA-400使用時)
電話録音キットを下記のように接続してください。



ご注意

- 必ず事前に試し録音をしてください。
- 本機へはモノラル音声での録音となります。
- ビジネスホンやホームテレホンなど対応していない電話機があります。
- 携帯電話を録音したい場合は市販の録音アダプタをご購入ください。

パソコンに接続して使う

※ Windowsのバージョンやパソコンのメーカーにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一部一致しない場合があります。（本書の説明で使用する画面はWindows XPとなります。）

動作環境

● Macintoshなど、Windowsを搭載していないパソコンや、自作パソコンでは動作保証いたしません。

対応機種	Windows標準搭載パソコン
対応OS（日本語版）	Windows Vista Windows XP Windows Millennium Edition（Me） Windows 2000 Professional(SP3以降)
USB端子	本製品接続時に1つ必要
その他	スピーカーまたはヘッドホンが必要 サウンド再生機能搭載

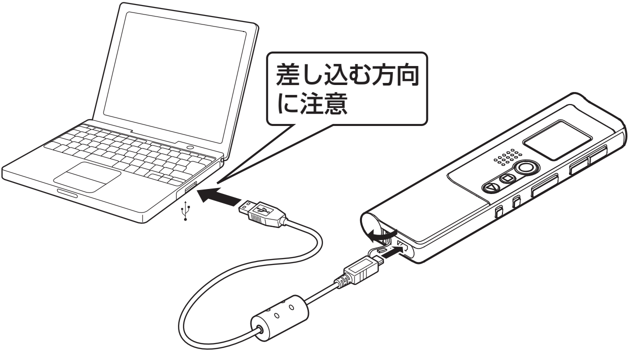
※上記は2007年2月現在での動作環境です。
Windows Vistaについては、当社ホームページをご覧ください。
http://www.sanyo-audio.com/support/icr/guide.html

ご注意

● 以下の環境での動作保証はいたしません。
ーWindows 各OSからのアップグレード環境
ーWindows 95、Windows NT、Windows 98、Windows 98SE
ーWindows 各OSのデュアルブート環境
● 推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
● ご利用の環境によっては、スタンバイ、サスペンド※などのモードが正常に動作しない場合があります。その場合は、本機使用時にはそれらのモードを使用しないでください。
※ サスペンド：CPU、LCD、HDDなどを停止し、電力消費量を極限まで減らしている状態。スリープと異なり、CPUは停止しているがROMへの電力供給はされている状態。
● 著作権保護のされているファイルには対応していません。
● Windows Vista/XP/2000をお使いの場合
1. 管理者権限（Administrators）のユーザーにてご使用ください。
2. Windows XP/2000で導入された「ダイナミックディスク」には動作保証していません。

本機をパソコンに接続する

1. 本機の電源を切る。
2. USB保護カバーをあける。
3. 専用USB接続ケーブル(付属)を使用してパソコンのUSB端子に接続する。

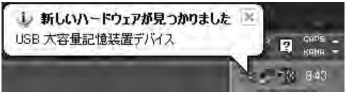


ご注意

- バスパワー型USBハブ、またはUSB延長ケーブル(付属ケーブル以外)をご使用の場合は動作保証いたしません。必ず、付属の専用USB接続ケーブルを使用して接続してください。
- パソコンとの接続時、本機に電池がなくても動作します。
- 接続された本機を抜き差しする時は、USB端子付近を持って抜き差ししてください。
- 本機をパソコン接続したままパソコンを持ち運ばないでください。パソコンのUSB端子が破損する原因となります。

はじめて本機をパソコンに接続すると

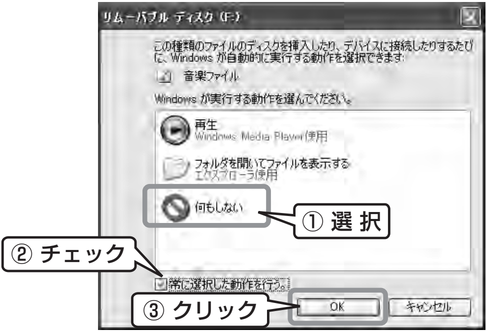
以下のような接続を表すメッセージが複数回表示されます。しばらくしてメッセージが消えるまで本機を取り外さないでください。



本機を接続したときにパソコンに何も表示しない場合は、87ページの「本機が正常に認識されているか確かめるには」を確認してください。

Windowsが実行する動作を選ぶ

Windows Me/2000に関しては、この操作はありません。

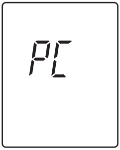


お客さまの使用環境に合わせて設定してください。

この例では[何もしない]を選択後、**[常に選択した動作を行う。]**にチェックし、**[OK]**をクリックしています。

パソコンに接続している間、本機は以下のような画面になります。

[パソコン接続時の本機表示]



[パソコンとの通信時の本機表示]



録音LEDが点滅します

通信表示中は本機をパソコンから抜かないでください。

※ 上の画面表示中は、本機のどのボタンやスイッチを押しても動作しません。

本機をパソコンから取り外す

1 [タスクトレイ]のアイコンを右クリックする

Windows画面右下の**[タスクトレイ]**のアイコンを右クリックします。



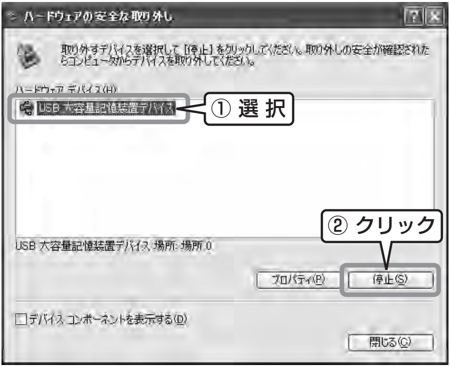
※ アイコンが表示されない場合は、Windowsのヘルプを参照してください。

2 表示された「ハードウェアの…」をクリックする



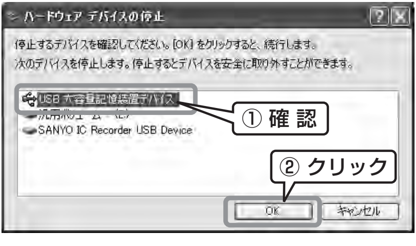
3 デバイスを選択し、[停止]をクリックする

[USB大容量記憶装置デバイス]を選択し、**[停止]**をクリックします。

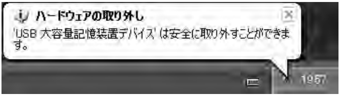


4 停止するデバイスを確認し、[OK]をクリックする

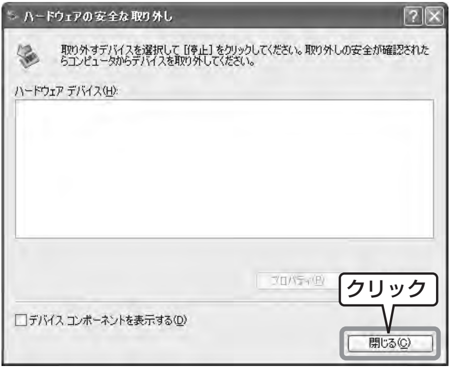
[USB大容量記憶装置デバイス]を確認して、**[OK]**をクリックします。



本機が取り外し可能な状態になると、以下の画面が表示されます。
[×]をクリックするか、しばらくすると画面が消えます。



5 [閉じる]をクリックする



6 本機をパソコンから取り外す

パソコンのUSB端子から専用USB接続ケーブル(付属)を取り外し、本機のUSB端子からも専用USB接続ケーブル(付属)を取り外します。

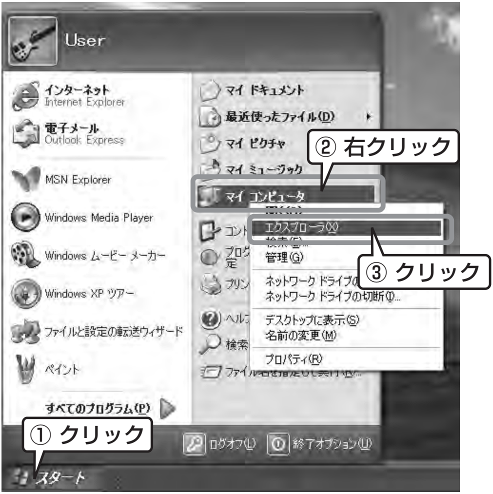
本機のフォルダについて

1 本機をパソコンのUSB端子に接続する

58ページ「本機をパソコンに接続する」参照。

2 エクスプローラを起動する

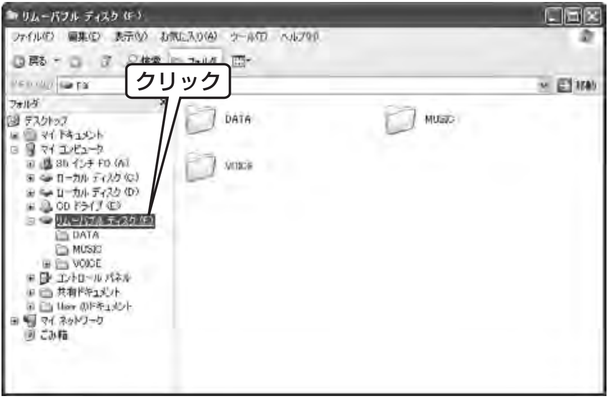
[スタート]メニューから**[マイ コンピュータ]**、またはディスクトップ上の**[マイ コンピュータ]**を右クリックして、表示されるメニュー内の**[エクスプローラ]**を選択してクリックします。



これで、**エクスプローラ**が起動します。

3 リムーバブルディスクのフォルダを表示する

本機をパソコンに接続すると、Windowsのエクスプローラでマイコンピュータ内に、**リムーバブルディスクとして表示**します。
この**[リムーバブルディスク]**をクリックすると、**内蔵メモリ**に記録した内容を表示することができます。本機が正常に認識されると以下のように表示します。



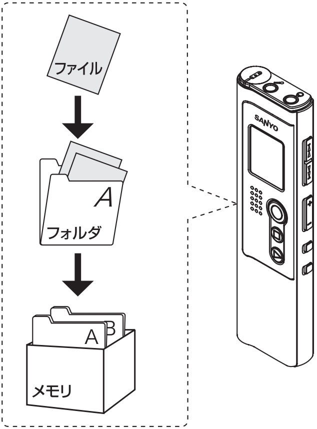
各フォルダの説明は、次ページ「本機のフォルダ/ファイルについて」をご覧ください。

ちょっとこれを!

- 複数のリムーバブルディスクを表示する場合は、本機を接続したときに新たに表示するリムーバブルディスクが本機であることを表します。
本機をパソコンから一度取り外し、再接続してご確認ください。
- 本機をパソコンに接続したときにリムーバブルディスクが表示しない場合は、87ページ「本機が正常に認識されているか確かめるには」を参照し、確認作業をおこなってください。

本機のフォルダ/ファイルについて

1回の録音単位または1曲の音楽データを「**ファイル**」、その「ファイル」を入れておく場所を「**フォルダ**」と呼びます。
本機にはA、B、C、D、Mの「フォルダ」が用意されており、「ファイル」はいずれかの「フォルダ」に収納されて「**内蔵メモリ**」に保存されます。



[VOICEフォルダ]

本機にて録音した音声ファイル(MP3形式)を保存するフォルダです。さらに、A～Dフォルダに分かれています。
パソコンに保存したVOICEフォルダの音声ファイルを、再度本機のMUSICフォルダに転送して再生することができます。

- Aフォルダは会議用、Bフォルダは英会話レッスン用など、用途に合わせてファイルの収納場所を分ければ、あとで必要なファイルが探しやすくなります。
- A･B･C･Dフォルダはそれぞれ最大99ファイルまで保存できます。
- 内蔵メモリの**A**フォルダに録音したファイルは、"IC_**A**_XXX(ファイル番号).MP3"というファイル名で、VOICEフォルダ内のAフォルダに保存されます。(B･C･Dフォルダについてもそれぞれ同様です。)
- ファイルを違うフォルダ(たとえば、Aフォルダ内のファイルをBフォルダへ)に移動しないでください。再生できなくなります。
- 一度パソコンに保存した音声ファイルを本機に再び戻すときは、MUSICフォルダ内へ転送してください。

[MUSICフォルダ]

パソコンから転送する音楽ファイルを保存するフォルダです。

- 転送するファイル名はどのようなものでも構いませんが、MP3形式、またはWMA形式(著作権なしのみ)のファイルに限ります。
- ファイルを追加すると再生順が変わる場合があります。
- 一度パソコンに保存した音声ファイルを本機に再び戻すときは、MUSICフォルダ内へ転送してください。そのとき、ファイル名が同一のファイルがMUSICフォルダ内にある場合、ファイルが上書きされ、フォルダ内にあったファイルが消えますのでご注意ください。

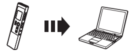
[DATAフォルダ]

本機をUSBフラッシュメモリ(リムーバブルディスク)として使うためのフォルダです。

- ワードやエクセルなどのデータを本機に一時保存するときは、DATAフォルダ内に入れてください。(このフォルダ以外には入れないでください。正常に動作しなくなることがあります。)
- DATAフォルダ内に音声や音楽ファイルを入れても本機では再生できません。

ご注意

- 内蔵メモリのフォーマットは、必ず本機側でおこなってください。パソコンでフォーマットをおこなうと、録音が正常にできなくなることがあります。
- パソコンでフォーマットしてしまったときは、再度本機でフォーマットしてください。
  40ページ「内蔵メモリの全データを消去する(フォーマット)」参照。

録音した音声ファイルをパソコンに保存する 

ここでは、Windowsのエクスプローラを使用して本機で録音した音声ファイルをパソコンに保存する方法について説明します。

1 本機をパソコンのUSB端子に接続する

58ページ「本機をパソコンに接続する」参照。

2 マイ コンピュータを開く

[スタート]メニューから**[マイ コンピュータ]**をクリックします。または、デスクトップ上の**[マイ コンピュータ]**をダブルクリックします。



3 リムーバブルディスクを開く

[マイ コンピュータ]内の**[リムーバブルディスク]**をダブルクリックします。



4 VOICEフォルダを開く

[リムーバブルディスク]内の**VOICE**フォルダをダブルクリックします。



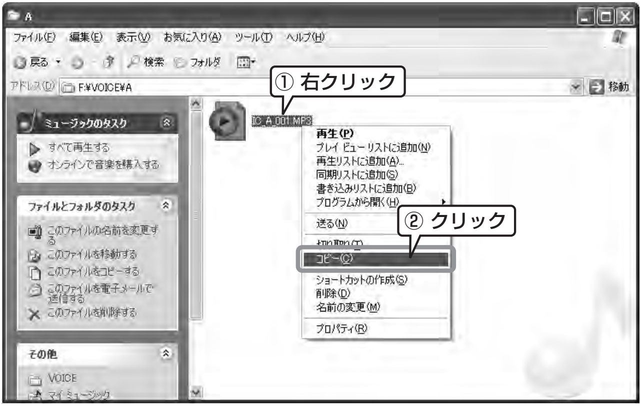
5 A･B･C･Dいずれかのフォルダを開く

[VOICEフォルダ]内のA･B･C･Dフォルダからパソコンに保存したい音声ファイルが入っているフォルダをダブルクリックします。



6 保存したい音声ファイルをコピーする

保存したい音声ファイルに重なるようにマウスポインタを移動させ、その状態で右クリックします（複数のファイルを一度にコピーするときはCtrlキーを押しながらマウスポインタを移動させ、ファイルをクリックします）。メニュー画面が表示したら、**[コピー]**（本機の音声ファイルを消去してパソコンに保存したいときは**[切り取り]**）を選択してクリックします。



これでファイルをコピーする準備ができました。

7 保存先のフォルダを開く



[マイ ドキュメント]に保存する例です。

8 音声ファイルを保存する

[編集]をクリックし、メニュー画面が表示したら**[貼り付け]**を選択してクリックします。



コピーが開始され、同じ名前のファイルが作成されたら保存完了です。

＜コピー中の表示＞



9 本機をパソコンから取り外す

60ページ「本機をパソコンから取り外す」参照。

音楽CDの曲をパソコンに取り込む

ご注意

- お客さまが作成したMP3･WMA形式ファイルは個人として楽しむほかは著作権法上、権利者に無断で複製や配布、インターネットへの掲載などに使用することは固く禁じられております。
- CDから音楽ファイルを取り込み中は、他の操作をしないでください。ノイズ発生の原因となります。

ここでは、Microsoft Windows Media Player 10を使って音楽CDの曲をMP3形式に変換してパソコンに取り込む方法について説明します。（Windows Media player10以上の場合はMP3形式で取り込むことをおすすめします。）

操作の方法について詳しくは、Windows Media Playerのオンラインヘルプをご覧ください。

※ **説明で使用する画面はWindows XP/Windows Media Player 10 となります。**

※ Windows 2000/Meをお使いで、Windows Media Player 9を使用する場合は、当社ホームページの「基本操作ガイド」をご覧ください。
http://www.sanyo-audio.com/support/icr/guide.html

- **Windows Media Playerの入手方法の詳細は、Microsoft社のホームページをご覧ください。**
  http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/

1 Windows Media Playerを起動する

[スタート]メニューから**[すべてのプログラム]－[Windows Media Player]**を選択して、Windows Media Playerを起動します。

2 [取り込み]をクリックする



- Windows Media Player 7.1上の表示：**[CDオーディオ]**
- Windows Media Player XP上の表示：**[CDからコピー]**
- Windows Media Player 9上の表示：**[CDから録音]**

3 音楽CDをパソコンの光学ドライブ(CD/DVD)に挿入する

お使いのパソコンがインターネット接続環境にある場合、自動的にインターネットから音楽CDの曲情報を入手して表示します。表示されない場合は**[アルバム情報の検索]**をクリックしてください。
インターネットに接続していない場合や、CDの種類によっては曲情報が表示されない場合もあります。

- Windows Media Player 7.1上の表示：**[名前の取得]**
- Windows Media Player XP上の表示：**[名前の取得]**
- Windows Media Player 9上の表示：**[アルバム情報の検索]**

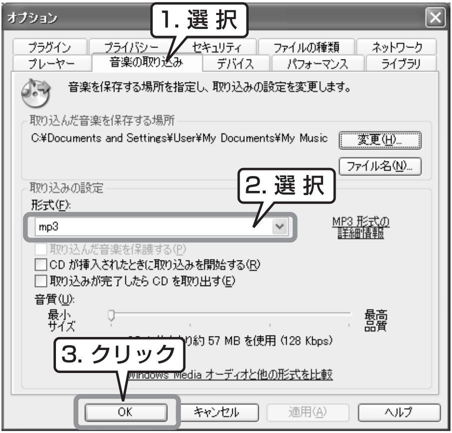
4 [オプション]を開く

Windows Media Playerの画面右上にある▼ボタンをクリックし、表示されたメニューから**[ツール]－[オプション]**をクリックし、オプション画面を表示させます。



5 [音楽の取り込み]タブより、[mp3]を選択する

形式は**[mp3]**を選択してください。
そのあと、**[OK]**をクリックしてください。



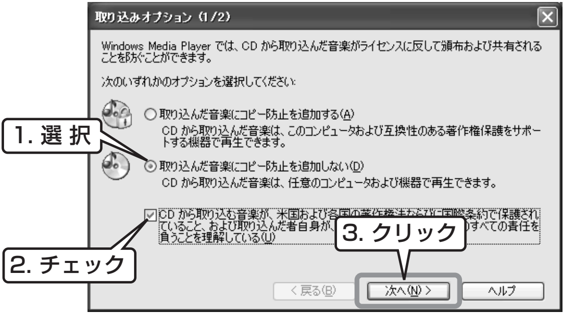
6 パソコンに取り込みたい曲を選択する

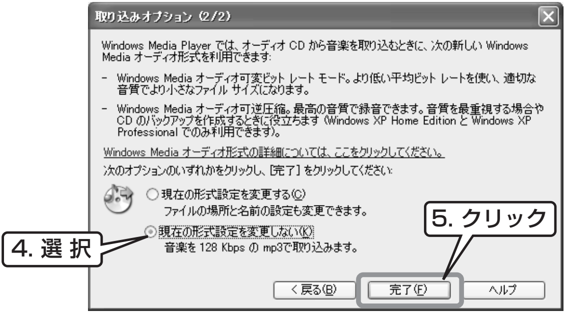
パソコンに取り込みたい曲をチェックして、**[音楽の取り込み]**をクリックします。



- Windows Media Player 7.1上の表示：**[音楽のコピー]**
- Windows Media Player XP上の表示：**[音楽のコピー]**
- Windows Media Player 9上の表示：**[音楽の録音]**

※ パソコンに曲を取り込む(録音する)際、下記のような画面が表示される場合があります。その際は、画面通りチェックをつけて**[完了]**をクリックしてください。





● 上記チェック項目「現在の形式設定を変更しない」下部にある、「音楽を XXX kbps の mp3で取り込みます」のXXの部分は、手順5で指定した設定により表示が異なります。

7 取り込み（データ変換）が開始される





選択した曲がすべて**[ライブラリに取り込み済み]**と表示されたら、CDの内容がMP3形式に変換されてパソコンに取り込まれます。

- Windows Media Player 7.1上の表示：**[ライブラリにコピー済み]**
- Windows Media Player XP上の表示：**[ライブラリにコピー済み]**
- Windows Media Player 9上の表示：**[ライブラリに録音済み]**

Windows Media Playerを使用して取り込まれた音楽ファイルは、初期設定では**[マイドキュメント]**内の**[マイミュージック]**に保存されています。

パソコンに取り込まれた音楽ファイルを本機に転送するには、次ページの「エクスプローラで音楽ファイルを本機に転送する」を参照ください。

エクスプローラで音楽ファイルを本機に転送する

ここでは、WindowsのエクスプローラをMP3(またはWMA)形式の音楽ファイルを本機に転送する方法について説明します。

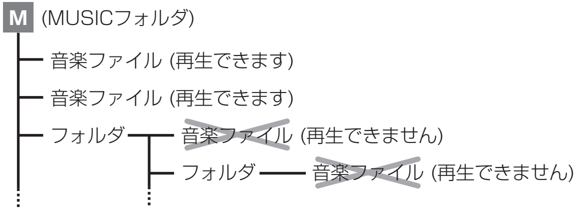
※ 本機は、Windows Media Playerを使用しての音楽ファイル転送には対応しておりません。エクスプローラを使用して転送してください。

ご注意

- **著作権保護されている音楽ファイルは本機で再生することができません。同様に、インターネットで購入された音楽ファイルも本機では再生できません。**
- MP3･WMA形式のファイルでも、本機で正常に再生できない場合があります。
- お客さまが転送したMP3･WMA形式ファイルは個人として楽しむほかは著作権法上、権利者に無断で使用することができません。
- 本機およびパソコンの不具合により転送できなかった場合、またはファイルが破損、消去された場合、ファイル内容の保証はいたしません。

本機で再生するには･･･

本機に音楽ファイルを転送するときは、フォルダやサブフォルダごと転送しないでください。本機で再生できるのは、MUSICフォルダ直下の音楽ファイルのみです。



1 本機をパソコンのUSB端子に接続する

58ページ「本機をパソコンに接続する」参照。

2 転送したい音楽ファイルがあるフォルダを開く

Windows Media Playerを使用して取り込んだ音楽ファイルは、初期設定では**[マイドキュメント]**内の**[マイ ミュージック]**に保存されています。**[スタート]**メニューから**[マイ ミュージック]**をクリックして、フォルダを開きます。



● Windows Media Playerで取り込んだ音楽ファイルの保存先は、Windows Media Playerを起動して、**[ツール]**－**[オプション]**－**[音楽の取り込み]**－**[取り込んだ音楽を保存する場所]**で確認できます。

3 転送したい音楽ファイルをコピーする

転送したい音楽ファイルに重なるようにマウスポインタを移動させ（複数のファイルをコピーしたいときはCtrlキーを押しながらマウスポインタを移動させます）、その状態で右クリックします。メニュー画面が表示したら、**[コピー]**（パソコン内の音楽ファイルを消去して本機に転送したいときは**[切り取り]**）を選択してクリックします。



これでファイルをコピーする準備ができました。

4 マイ コンピュータを開く

[スタート]メニューから**[マイ コンピュータ]**をクリックします。または、デスクトップ上の**[マイ コンピュータ]**をダブルクリックします。



応用操作

パソコンに接続して使う

5 リムーバブルディスクを開く

[マイ コンピュータ]内の**[リムーバブルディスク]**をダブルクリックします。



6 MUSICフォルダを開く

[リムーバブルディスク]内のMUSICフォルダをダブルクリックします。



ご注意

- 再生したい音楽ファイルは、必ずリムーバブルディスクのMUSICフォルダ内に入れてください。VOICE(A･B･C･D)フォルダに入れても再生できません。

7 音楽ファイルを転送する

[編集]をクリックし、メニュー画面が表示したら**[貼り付け]**を選択してクリックします。



コピーが開始され、同じ名前の音楽ファイルが作成されたら転送完了です。

＜コピー中の表示＞



転送するフォルダ・ファイルに関しては、次ページ「本機のフォルダ/ファイルについて」を参照してください。

8 本機をパソコンから取り外す

60ページ「本機をパソコンから取り外す」参照。

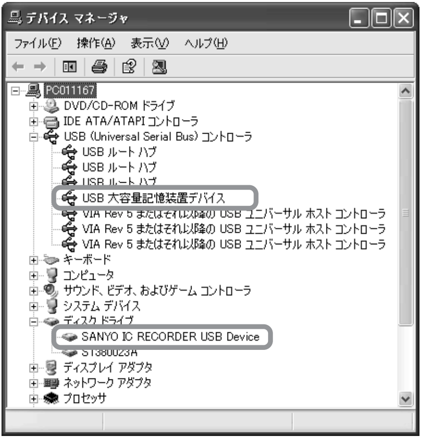
本機が正常に認識されているか確かめるには

本機をパソコンから一度取り外し、再接続した状態で、以下の確認作業をおこなってください。

デスクトップ上の**[マイ コンピュータ]**を右クリックし、表示されるメニューから**[プロパティ]**を選択して**[システムのプロパティ]**画面を開きます。**[ハードウェア]**タブ内の**[デバイスマネージャ]**ボタンをクリックして**[デバイスマネージャ]**を開きます。

[ディスクドライブ]と**[USBコントローラ]**を開いて、下図のように表示されていれば、正常です。

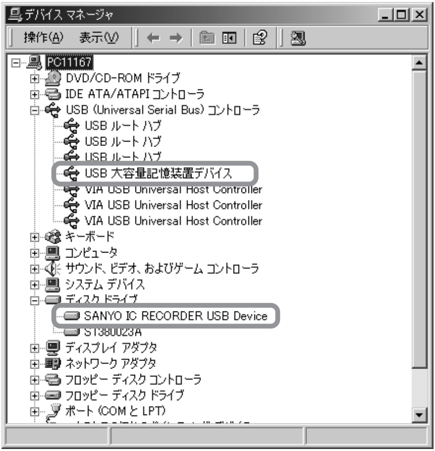
<Windows XP>



応用操作

パソコンに接続して使う

<Windows 2000>



<Windows Me - ディスクドライブ>



<Windows Me - ユニバーサル シリアル バス コントローラ>



上図のような表示にならない場合、下記の「デバイスマネージャで正しく表示されなかったら？」をご覧いただき、手順にしたがって操作をおこなってください。

デバイスマネージャで正しく表示されなかったら？

1. 起動中のアプリケーションはすべて終了させてください。
2. 接続されている他のUSB機器（正しく動作しているマウス・キーボードは除く）はすべて取り外して、本機を単独で接続してください。
3. パソコンにUSB端子が複数ある場合（前面・背面など）は、別の端子に本機を接続する。
4. バスパワー型USBハブ（USB端子分配用周辺機器）を介して本機を接続している場合は、いったんハブを取り外してパソコンのUSB端子に直接専用USB接続ケーブル（付属）を使用して本機を接続する。

ご注意

接続するUSBケーブルは、必ず付属の専用USB接続ケーブルを使用してください。

故障かな?と思うまえに

販売店にご相談になる前に、下記をお確かめください。
直らない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。
本書に記載のない場合、より詳細な情報やその他のよくある質問、ソフトウェアのバージョンアップ情報については、当社ホームページのサポートページ"http://www.sanyo-audio.com/support/icr/index.html"にて随時更新しています。そちらも併せてご覧ください。

本機が動作しない

原　　因	電池が正しく入っていないか、電池切れである
解決方法	電池が正しく入っていることを確認してください。 一度電池を完全に抜いてから、電池を正常に入れ直してください。または新しい電池に換えてください。 13ページ「電池の入れ方/交換方法」参照

音声が聞こえない

原　　因	音量が小さい
解決方法	**音量**(+または−)ボタンを押して、音量を調節してください。 18ページ「音量を調節する」参照

VOICE(A･B･C･D)フォルダ内のファイルが再生できない

原　　因	ファイル名が異なる
解決方法	パソコン上でファイル名を変更すると、VOICEフォルダに戻しても再生できなくなりますが、MUSIC(M)フォルダに転送すると再生できるようになります。

ボタンを押しても反応しない

原　　因	誤動作防止機能(ホールド機能)が設定されている
解決方法	誤動作防止機能(ホールド機能)を解除してください。 17ページ「誤動作を防止する(ホールド機能)」参照

原　　因	USB接続したままである
解決方法	本機をパソコンから取り外してください。 60ページ「本機をパソコンから取り外す」参照

スピーカーから音声が聞こえない

原　　因	ステレオヘッドホンが接続されている
解決方法	ステレオヘッドホンを本機から抜いてください。 15ページ「ステレオヘッドホン(付属)を使用する」参照

MUSIC(M)フォルダ内のファイルが再生できない、または正しく再生できない

原　　因	・再生できるファイル形式ではない ・著作権保護のされている音楽ファイル ・インターネットで購入した音楽ファイル
解決方法	正常に再生できるWMA形式またはMP3形式のファイル(CBR(固定ビットレート)のみ)をご使用ください。

原　　因	転送先が異なる
解決方法	パソコンからファイルを転送するときに、VOICE(A・B・C・D)フォルダに入れても、本機で再生できません。必ずリムーバブルディスク内のMUSIC(M)フォルダ内に転送してください。 80ページ「エクスプローラで音楽ファイルを本機に転送する」参照

原　　因	本機で再生できないファイルとなっている
解決方法	エンコーダー(MP3・WMA変換)ソフトを別のものに変えてファイルを作成してください。

原　　因	音楽ファイルをフォルダやサブフォルダごと本機に転送している
解決方法	本機で再生できるのは、MUSICフォルダ直下の音楽ファイルのみです。 80ページ「本機で再生するには・・・」参照

ファイル分割ができない

原　　因	メモリの空き容量が足りない
解決方法	不要なファイルを消去してください。 37ページ「ファイルを消去する」参照

原　　因	ファイルの録音時間が短すぎる
解決方法	ファイル分割は録音時間の長いファイルでおこなってください。 LP…約10秒以上、SP…約5秒以上、 HQ…約3秒以上、SHQ…約2秒以上

カレンダが正しく表示されない

解決方法	日時を再設定してください。 19ページ「日時を設定する」参照

音声ガイドが使用できない

原　　因	ビープ音設定が音声ガイドになっていない
解決方法	メニュー設定からビープ音設定で音声ガイド（On VOICE）を選択設定してください。 53ページ「各種メニューの設定 - ビープ音設定」参照

パソコン接続時に、リムーバブルディスクが表示されない

原　　因	パソコンと本機が正しく接続されていない
解決方法	パソコンのUSB端子に最後まで正しく差し込まれているか、また専用USB接続ケーブルのUSB端子が正しく最後まで差し込まれているかどうか確認してください。 58ページ「本機をパソコンに接続する」参照

原　　因	パソコンからの電源供給が不十分
解決方法	USBハブを利用している場合は、パソコン本体のUSB端子と本機とを直接接続してください。または、パソコン本体に複数USB端子がある場合は、他の端子に接続してください。 58ページ「本機をパソコンに接続する」参照

原　　因	ネットワークドライブが割り当てられている
解決方法	ネットワークドライブが割り当てられていると、ドライブレター(ドライブ名を表すアルファベット)がぶつかり、リムーバブルディスクが作成されない場合があるので、ネットワークドライブの割り当てを変更してから再度接続してください。 ネットワークドライブの割り当てについてはネットワーク管理者などにお聞きください。

原　　因	パソコンと本機が正しく接続されない
解決方法	パソコンと本機が正しく認識しない場合、再度接続してください。 本機に対応するパソコン以外に接続されても動作保証いたしません。 57ページ「動作環境」参照

録音するとノイズが聞こえる

原　　因	録音モードやマイク感度が適切でない
解決方法	録音モードやマイク感度を適切に切り換えて、試し録音しながら最適な録音環境に設定してください。 22ページ「録音モードを選択する」参照 51ページ「各種メニューの設定-マイク感度設定」参照

解決方法	内蔵メモリのフォーマット（初期化）をおこなってください。 40ページ「内蔵メモリの全データを消去する（フォーマット）」参照

録音した内容の音が途切れる

原　　因	VAS(音声起動録音)設定がオンになっている
解決方法	VAS設定をオフにして録音してください。 27ページ「VAS:音声起動録音設定について」参照

再生音にガサガサ雑音が入る

解決方法	録音中に本機や、本機を握っている手や指を動かすと、その音が録音されてしまいます。録音中はできるだけ本機を動かさないようにしてください。

よくあるご質問(Q&A)

Q:マンガン電池や充電池は使えますか?

A:	マンガン電池、ニカド電池は使用できません。アルカリ電池のご使用をおすすめします。当社の充電池「エネループ(eneloop)」も使用できますが、アルカリ電池に対して持続時間は約70%となります。また、電圧が異なるため、本機の電池残量表示が正しく表示されない場合があります。なお、オキシライド電池も使えますが、電池の持続時間はアルカリ電池の場合とほぼ同じになります。

Q:録音可能時間とは1つのファイルごとの録音可能時間ですか?

A:	いいえ違います。 各録音モードの録音可能時間とは、内蔵メモリ内に録音ファイルが何もない状態で、録音モードを変えることなく最初から最後まで録音した場合の合計時間です。例えば、1ファイルで録音残時間がなくなるまで録音すると、ファイルやフォルダを変更しても、それ以上は録音できません。

Q: パソコンにいったん保存した録音ファイルを本機に再び戻したら再生できなくなりました

A:	パソコンでファイル名を変更していませんか? ファイル名を変更すると、VOICEフォルダに戻しても再生できませんが、MUSICフォルダに転送すると再生できるようになります。

お手入れについて

お手入れ

柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、柔らかい布でからぶきをしてください。

- ベンジンやアルコール、シンナーなどでふいたりしますと、変質、変色することがありますので使用しないでください。また、殺虫剤もかからないようにご注意ください。

温度上昇について

本機を長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

主な仕様

内蔵メモリ	：512MB
対応OS	：Windows Vista/XP/Me/2000
録音時間	：約72時間（LP時） 約36時間（SP時） 約18時間（HQ時） 約 9時間（SHQ時）
録再周波数特性	：120～ 3,000Hz（内蔵マイクLP時） 60～ 4,400Hz（内蔵マイクSP時） 60～ 8,000Hz（内蔵マイクHQ時） 60～15,000Hz（内蔵マイクSHQ時）
録音フォーマット	：MP3
再生フォーマット	：MP3（MPEG1 LAYER3、MPEG2 LAYER3、MPEG2.5 LAYER3）・WMA
再生周波数	：20～20,000Hz
サンプリング周波数	：16～44.1kHz
再生対応ビットレート	：16～192kbps（MP3）・32～160kbps（WMA） CBR（固定ビットレート）のみ対応 ※ファイルによっては正常に再生できない場合があります。
S/N比	：85dB
入・出力端子	：USB/ステレオヘッドホン3.5φミニ/ステレオマイク
動作温度	：+5℃～+35℃
定格出力（ヘッドホン）	：5mW+5mW(16Ω負荷時、JEITA/DC)
（スピーカー）	：70mW(8Ω負荷時、JEITA/DC)
電源	：1.5V（単4アルカリ電池×1）
電池持続時間（JEITA）	：連続録音時間 約17時間30分（アルカリ電池） 録音モード：SP、録音LED：オフ時 連続再生時間 約20時間（アルカリ電池） 録音モード：SP、ヘッドホン再生時 連続再生時間 約13時間30分（アルカリ電池） 録音モード：SP、スピーカー再生時 ※ 連続録音・再生時間は、電池の種類、メーカー、保管状態、使用条件、使用周囲温度などによって変わります。上記の時間はあくまで目安であり、保証するものではありません。
時計	：月差±60秒
最大外形寸法	：幅31×高さ110×奥行き13mm
質量	：約42g（電池含む）
付属品	：単4アルカリ電池 (1)　専用USB接続ケーブル (1) 本書（保証書付） (1)　かんたん操作ガイド (1) タイピン型ステレオ外部マイク (1) インナーイヤー型ステレオヘッドホン (1)

※ 内蔵メモリの特性により、録音時間が短くなることがあります。

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この商品には保証書がついています。お買い上げの際、販売店が発行します。
- 所定事項の記入をご確認のうえ内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より**1年間**です。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書の90ページからをもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店か、または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。
お問い合わせの際、電池ぶたの裏面に貼ってあるラベルに書かれた製造番号(シリアルナンバー)をお知らせください。

保証期間中の修理は

保証書の規定に従い、お買い上げの販売店が修理させていただきます。製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間経過後の修理は

修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間について

ステレオデジタルボイスレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)の保有期間は、製造打ち切り後6年間です。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

お客さまご相談窓口

■ まずはお買い上げ販売店へ …

家電製品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げ販売店へお申し出ください。

転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

家電製品についての全般的なご相談

三洋電機(株) お客さまセンター

受付時間 ：9:00 ～ 18:30 (365日)

総合相談窓口	050-3116-3434

※ 上記番号をご利用できない場合は、**大阪(06)-6994-9570** におかけください。

※ 郵便またはFAXでご相談される場合

三洋電機(株)お客さまセンター

〒570-8677 大阪府守口市京阪本通2-5-5
FAX(06)6994-9510

修理サービスについてのご相談

三洋コンシューママーケティング(株)

受付時間： 月曜日 ～ 金曜日 9:00 ～ 18:30
土曜・日曜・祝日 9:00 ～ 17:30

修理相談窓口：東コールセンター

地区	拠点	電話番号
関東･甲信越地区	東 京	050-3116-2222 東京(03)5302-3401
	福 島	
	新 潟	
	長 野	
北海道地区	札 幌	050-3116-2333
東北地区	宮 城	050-3116-2444

修理相談窓口：西コールセンター

地区	拠点	電話番号
近畿･北陸･四国地区	大 阪	050-3116-2555 大阪(06)4250-8400
	金 沢	
	高 松	
中部地区	名古屋	050-3116-2666
中国地区	広 島	050-3116-2777
九州地区	福 岡	050-3116-2888

地区	拠点	電話番号
沖縄地区	沖 縄	098-944-5018

受付時間 月曜日～土曜日 9:00～12:00、13:00～17:30（日曜、祝日および当社休日を除く）

持込み修理および部品についてのご相談

三洋コンシューママーケティング(株)

受付時間：月曜日～土曜日 9:00～17:30
（日曜、祝日を除く）

持込み修理および部品については、各地区サービスセンターで承っております。

☆ お客さまご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

お客さまご相談窓口におけるお客さまの個人情報のお取扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き第三者への開示は行いません。

＜利用目的＞

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品･サービスに関わるご相談･お問合せおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機（株）および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

＜業務委託の場合＞

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理･監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ
http://www.sanyo.co.jpをご覧ください。

北　海　道　地　区

[北海道]	札　　幌	(011)831-9201	〒003-0013	札幌市白石区中央三条4-1-36
	函　　館	(0138)48-8301	〒041-0824	函館市西桔梗町589-295
	苫 小 牧	(0144)57-8707	〒059-1364	苫小牧市沼ノ端230-1034
	旭　　川	(0166)22-2421	〒070-0073	旭川市曙北三条7-3-3
	北　　見	(0157)23-4871	〒090-0037	北見市山下町4-7-14
	釧　　路	(0154)22-1576	〒085-0035	釧路市共栄大通3丁目1番6号　青木ビル

東　北　地　区

[宮城県]	仙　　台	(022)287-8351	〒984-0032	仙台市若林区荒井字丑ノ頭43-1
[青森県]	青　　森	(017)729-3401	〒030-0141	青森市大字上野字山辺29-5
	八　　戸	(0178)28-9225	〒039-1121	八戸市卸センター1-6-7
[岩手県]	盛　　岡	(019)623-1600	〒020-0824	盛岡市東安庭2-12-1
	水　　沢	(0197)23-6621	〒023-0003	奥州市水沢区佐倉河字羽黒田45
[山形県]	山　　形	(023)641-1769	〒990-2331	山形市飯田西4-5-35
	酒　　田	(0234)23-3817	〒998-0842	酒田市亀ケ崎6-7-16
[秋田県]	秋　　田	(018)862-6551	〒011-0901	秋田市寺内イサノ93-1
[福島県]	郡　　山	(024)945-6793	〒963-0107	郡山市安積3-120

関　東　・　甲　信　越　地　区

[埼玉県]	さいたま	(048)778-3095	〒362-0025	上尾市上尾下780-1
	坂　　戸	(049)284-8900	〒350-0214	坂戸市千代田5-3-17
[栃木県]	栃　　木	(028)614-3883	〒321-0111	宇都宮市川田町字免ノ内765-5
[茨城県]	茨　　城	(0298)64-4751	〒300-3261	つくば市花畑2-15-3
	水　　戸	(029)251-4125	〒311-4152	水戸市河和田3-2386-1
[群馬県]	群　　馬	(0270)40-7611	〒372-0003	伊勢崎市華蔵寺町87-1
[新潟県]	新　　潟	(025)285-2431	〒950-0942	新潟市小張木2-16-43
	長　　岡	(0258)46-8065	〒940-2127	長岡市新産2-9-4
	上　　越	(025)543-3535	〒942-0081	上越市五智1-11-8 齋藤オフィス
[東京都]	城　　東	(03)5697-8160	〒120-0005	足立区綾瀬7-22-15 綾瀬7丁目ビル
	城　　北	(03)5914-3413	〒174-0051	板橋区小豆沢(アズサワ)1-23-10
	城　　西	(03)5347-0761	〒167-0032	杉並区天沼3丁目12番12号 テック杉並
	武 蔵 野	(042)364-7721	〒183-0033	府中市分梅町5-9-1
	相 模 原	(042)788-2760	〒194-0012	町田市金森851-3
[神奈川県]	戸　　塚	(045)827-2831	〒244-0806	横浜市戸塚区上品濃9-14
	京　　浜	(044)740-3530	〒211-0041	川崎市中原区下小田中5-11-21
	平　　塚	(0463)55-3926	〒254-0014	平塚市四之宮3-20-60
[千葉県]	千　　葉	(043)208-3800	〒260-0842	千葉市中央区南町3-7-15
	鎌 ヶ 谷	(047)441-0111	〒273-0105	鎌ヶ谷市鎌ヶ谷7-6-59
[山梨県]	山　　梨	(055)226-2561	〒400-0035	甲府市飯田4-8-23

中　部　・　北　陸　地　区

[愛知県]	名　古　屋	(052)979-3455	〒461-0025	名古屋市東区徳川1-901 サンエース徳川ビル1F
	名古屋西	(052)485-3620	〒453-0816	名古屋市中村区京田町2-1
	岡　　崎	(0564)23-3418	〒444-0860	岡崎市明大寺本町1-20
[岐阜県]	岐　　阜	(058)246-3417	〒501-6006	岐阜県羽島郡岐南町伏屋 1-35
[静岡県]	静　　岡	(054)236-0691	〒422-8034	静岡市駿河区高松 2丁目26-10
	沼　　津	(055)935-0501	〒410-0822	沼津市下香貫七面1152-2
	浜　　松	(053)461-8685	〒430-0812	浜松市本郷町123
[長野県]	松　　本	(0263)40-3411	〒390-0852	松本市島立1064-1
	長　　野	(026)299-9501	〒388-8006	長野市篠ノ井御幣川字東松島 1000-2
[石川県]	金　　沢	(076)292-2060	〒921-8005	金沢市間明町2-100
[富山県]	富　　山	(076)422-7020	〒939-8211	富山市二口町1-13-8
[福井県]	福　　井	(0776)53-7134	〒910-0834	福井市丸山1-1002
[三重県]	三　　重	(059)236-5195	〒514-0111	津市一身田平野285-2

近　畿　地　区

[大阪府]	大　　阪	(06)6992-6235	〒570-0086	守口市竹町4-13
	大　阪　南	(06)6761-4600	〒543-0001	大阪市天王寺区上本町 5-1-14　三洋ビル2F
	大　阪　東	(0729)65-1811	〒578-0903	東大阪市今米2-3-29
	阪　　和	(072)221-8571	〒590-0026	堺市向陵西町2-1-24
[京都府]	京　　都	(075)645-1434	〒612-8427	京都市伏見区竹田真幡木町 26-1
	三　　丹	(0773)24-3405	〒620-0062	福知山市和久市町290番地 和久市岩掘ビル2F
[奈良県]	奈　　良	(0744)22-7888	〒634-0817	橿原市寺田町113-1
[滋賀県]	滋　　賀	(077)514-2221	〒524-0021	守山市吉身4丁目1-24 南井産業第3ビルB棟
[和歌山県]	和　歌　山	(073)473-7112	〒640-8301	和歌山市岩橋1636-1
	田　　辺	(0739)22-7520	〒646-0051	田辺市稲成町南江原318
[兵庫県]	神　　戸	(078)641-1251	〒653-0038	神戸市長田区若松町2-1-9 ピアザビル3F
	阪　　神	(06)6432-3401	〒661-0026	尼崎市水堂町4-17-6
	姫　　路	(0792)82-7892	〒670-0943	姫路市市之郷町1-9
	淡　　路	(0799)42-6015	〒656-0478	南あわじ市市福永536-1

中　国　地　区

[広島県]	広　　島	(082)293-6511	〒733-0012	広島市西区中広町2-1-2
	福　　山	(084)954-4101	〒721-0952	福山市曙町4-22-10
[岡山県]	岡　　山	(086)245-1634	〒700-0973	岡山市下中野703-101
	津　　山	(0868)22-6133	〒708-0002	津山市上河原239-10
[鳥取県]	鳥　　取	(0857)24-2930	〒680-0843	鳥取市南吉方3-107
[島根県]	浜　　田	(0855)22-7883	〒697-0023	浜田市長沢町3049
	松　　江	(0852)23-1183	〒690-0044	松江市浜乃木2-15-3
[山口県]	山　　口	(083)973-3391	〒754-0024	山口市小郡若草町2-6

四　国　地　区

[愛媛県]	愛　　媛	(089)979-3486	〒799-2655	松山市馬木町274番地
	四　　国	(0896)23-3416	〒799-0404	四国中央市三島宮川 2丁目732-4
[香川県]	香　　川	(087)843-1840	〒761-0101	高松市春日町片田1657-1
[高知県]	高　　知	(088)831-2570	〒780-8007	高知市仲田町6-12
[徳島県]	徳　　島	(088)699-4131	〒771-0219	徳島県板野郡松茂町笹木野字八北開拓189-1

九　州　地　区

[福岡県]	福　　岡	(092)928-3414	〒818-8534	筑紫野市紫6-1-1
	北 九 州	(093)521-5286	〒802-0004	北九州市小倉北区鍛冶町 2-4-7
	中 九 州	(0942)37-3934	〒830-0038	久留米市西町105-18
[長崎県]	長　　崎	(095)813-3545	〒851-0101	長崎市古賀町1006-5
	佐 世 保	(0956)31-7635	〒857-1162	佐世保市卸本町17-1
[熊本県]	熊　　本	(096)388-3434	〒861-8045	熊本市小山3丁目2番11号 熊本トラックターミナル内
	八　　代	(0965)35-3483	〒866-0871	八代市田中東町12-7
[大分県]	大　　分	(097)543-3454	〒870-0829	大分市椎迫5-6組
[宮崎県]	宮　　崎	(0985)29-3441	〒880-0022	宮崎市大橋3-224
[鹿児島県]	鹿 児 島	(099)251-4615	〒890-0068	鹿児島市東郡元町11-10

沖　縄　地　区

[沖縄県]	沖　　縄	(098)944-5018	〒903-0103	沖縄県中頭郡西原町小那覇1303 沖縄三洋販売(株)サービス部

(240306 I)

☆ 住所、電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。

無料修理規定

お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買い上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本書をご持参ご提示ください。

1. 保証期間でも次のような場合には有料修理となります。
   イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   ロ. お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
   ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
   ニ. 業務用としての使用、車両・船舶への搭載など一般家庭以外に使用された場合の故障または損傷。
   ホ. 本書の提示がない場合。
   ヘ. 本書にお買い上げ年月日、お客さま名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   ト. 消耗品の交換・仕様変更など。
2. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理をおこなった場合の出張料はお客さまの負担となります。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本書に記入の販売店に修理をご依頼になれない場合には、「お客さまご相談窓口」をご覧のうえ、もよりの窓口にお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店または「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

● 保証期間経過後の修理または補修用性能部品の保有期間について詳しくは「保証書とアフターサービス」(100ページ)をご覧ください。

三洋電機株式会社
パーソナルモバイルグループ
DIカンパニー　国内販売担当
〒574-8534 大阪府大東市三洋町1番1号
ボイスレコーダーユーザーサポートホームページアドレス
http://www.sanyo-audio.com/support/icr/index.html

(JP1)　8SF69-00667B-